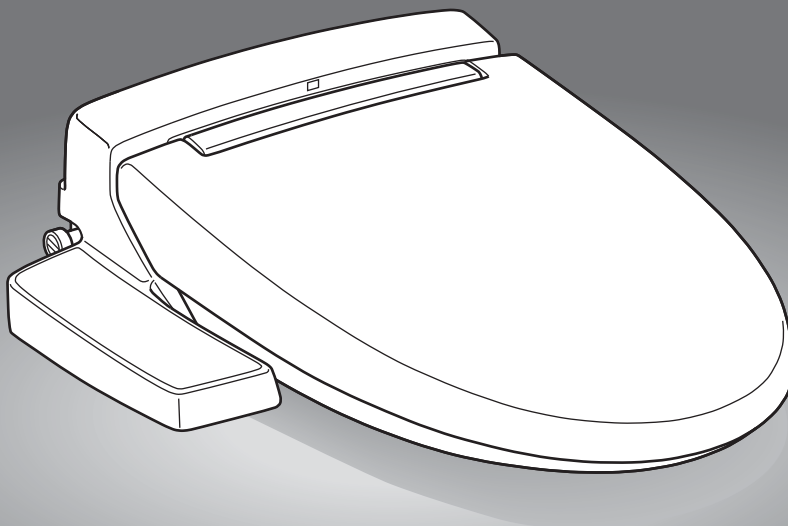
取扱説明書 |保証書別添|

シャワートイレ

H シリーズ | **CW-H43 型，CW-H42 型，CW-H41 型**
RL シリーズ | **CW-RL3 型，CW-RL2 型，CW-RL1 型**

シャワートイレは、高齢の方、お体の不自由な方、ご病気の方、小さなお子さまも、
おひとりでご使用になるものです。しかも肌に直接触れます。
万が一の事故を未然に防ぎ、安全に、快適にお使いいただくために、
必ずこの「取扱説明書」をよくご覧ください。

この度は当社商品をお買い求めいただき誠にありがとうございました。お読みになった後もすぐ取り出せる場所に、大切に保管してください。

❖ 安全上のご注意・必ずお守りください

3～6ページに示した警告と注意は、状況によって重大な事故に結びつく恐れがあります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
不適切な使用により事故が生じた場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。転居される場合、次に入居される方にこの説明書をお渡しください。

★工事店様へ 貴店名ならびに取付日を同梱の保証書にご記入の上、お客さまへお渡しください。

袋：PE

各部のなまえ

全体図

ロータンク

サプライ管または
タンク給水ホース

分岐金具

止水栓

操作部

ストレーナー
(☞ 2 ページ)

電源プラグ

漏電保護機能付
の場合

アース線

本体給水ホース

便フタ

注意事項

品番表示

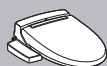
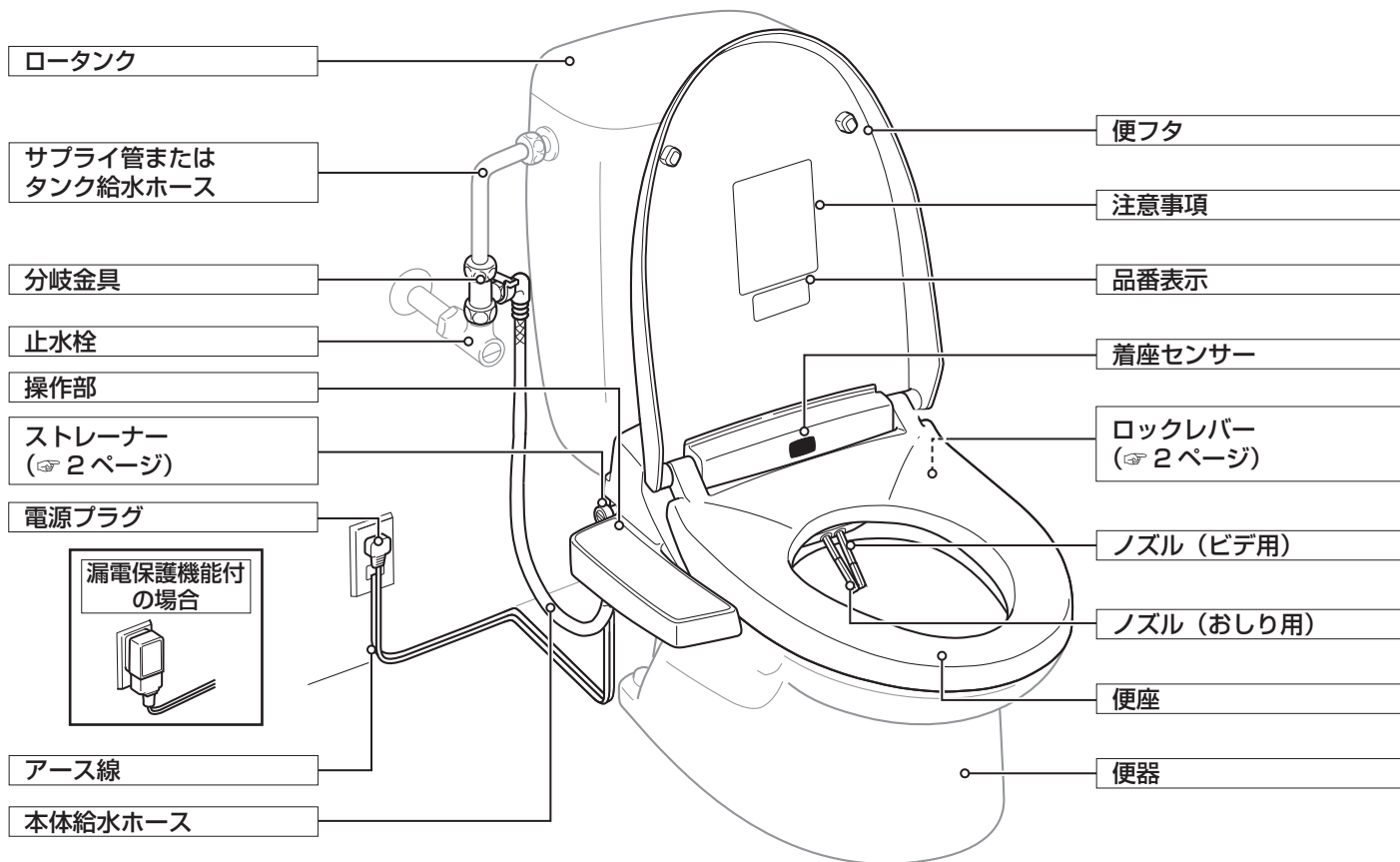
着座センサー

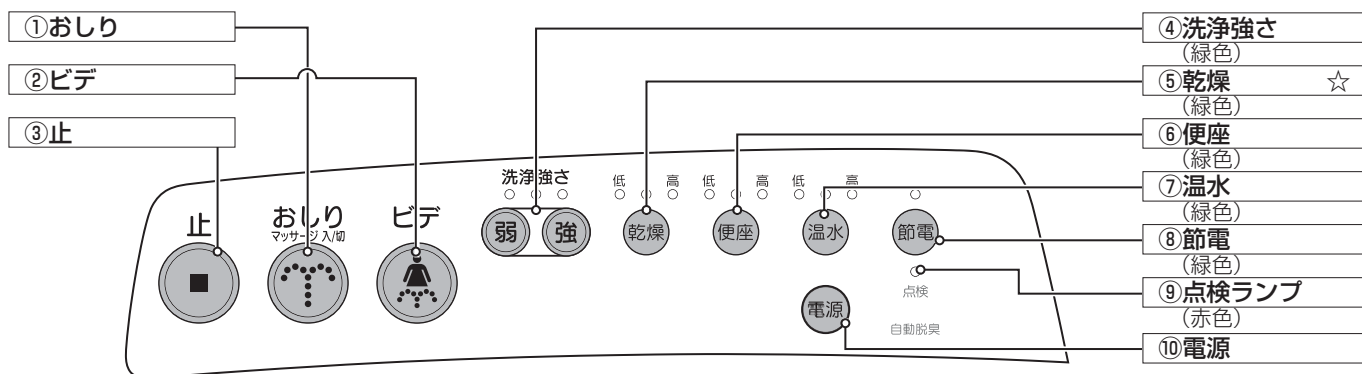
ロックレバー
(☞ 2 ページ)

ノズル（ビデ用）

ノズル（おしり用）

便座

便器

操作部

※機種によっては、一部機能（☆印付）がない場合があります。

① 【おしり】………………………………(☞ 13 ページ)
● おしり洗浄のときに。

② 【ビデ】…………………………………(☞ 13 ページ)
● ビデ洗浄のときに。

③ 【止】……………………………………(☞ 13/14 ページ)
● おしり・ビデ洗浄・乾燥〈乾燥付の場合〉を止めるときに。

④ 【洗浄強さ】……………………………(☞ 13 ページ)
● おしり洗浄やビデ洗浄の洗浄強さを調節するときに。

⑤ 【乾燥】…………………………………(☞ 14 ページ)
● おしり洗浄・ビデ洗浄の後に。

⑥ 【便座】…………………………………(☞ 11 ページ)
● 便座温度の調節に。

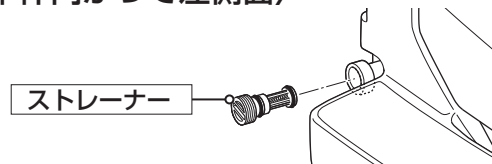
⑦ 【温水】…………………………………(☞ 11 ページ)
● シャワー温度の調節に。

⑧ 【節電】…………………………………(☞ 15 ページ)
● トイレを使用しないときや節電のために。

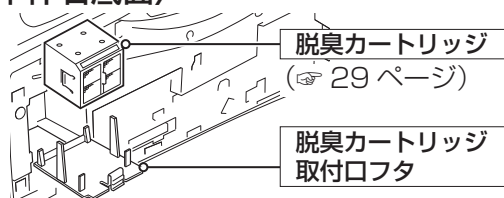
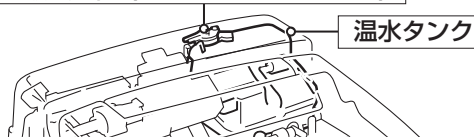
⑨ 【点検ランプ】…………………………(☞ 42 ページ)
● 点検時期をお知らせします。

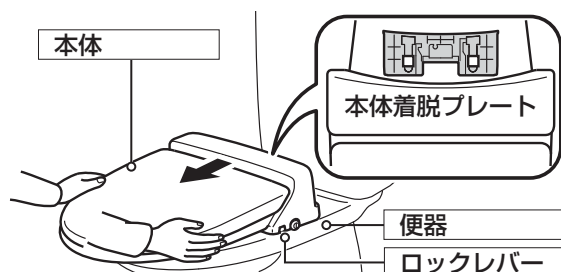
⑩ 【電源】………………………………… (☞ 9 ページ)
● シャワートイレ本体の電源を入 / 切するときに。

ストレーナー

〈本体向かって左側面〉

※ストレーナーは、水道水内の異物を除去します。
※ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉めてから外してください。
外すときは少量の水がこぼれますので、洗面器などを下に置いてください。(☞ 30 ページ)

脱臭カートリッジ ☆

〈本体右底面〉

負圧破壊装置（バキュームブレーカー）

※ バキュームブレーカーは、本体に内蔵されています。
また、定期的な点検が必要です。(☞ 32 ページ)

本体着脱プレート&ロックレバー

※お手入れ時、本体を着脱するためのプレートです。(☞ 25 ページ)

温水タンク水抜栓

〈本体向かって右側面〉

※温水タンク水抜栓は、温水タンク内の水を抜くときに外します。(☞ 33 ページ)

目次

保有機能一覧（あり：○、なし：－）

品番	CW-H43 CW-RL3	CW-H42 CW-RL2	CW-H41 CW-RL1
おしり・ビデ洗浄	○	○	○
マッサージ洗浄	○	○	○
温風乾燥	○	－	－
Wパワー脱臭	2モード	2モード	－
キレイ便座	○	○	○
ワンタッチ節電	○	○	○
ノズルそうじ（ノズル洗浄）	Hシリーズ：○ RLシリーズ：－		
漏電保護機能	Hシリーズ：－ RLシリーズ：○		

※ 品番は、便フタ裏の品番表示（☞ 1 ページ）に記載されています。
お持ちの機能をご確認ください。

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結びつく恐れがあります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

警告	注意
この表示を守らず誤った取扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う恐れが想定される内容を示します。	この表示を守らず誤った取扱いをすると、使用者が傷害を負うまたは物的損害のみが発生する恐れが想定される内容を示します。

⚠ 警告

ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。
※ 感電の恐れがあります。

指示実行

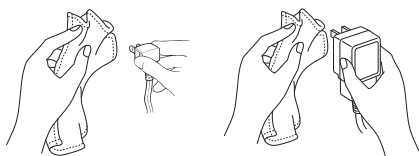
電源プラグの抜き差しはプラグ本体を持って行う。
※ コード部を持って抜差しを行うとプラグやコードが破損し、感電や火災の恐れがあります。

水かけ禁止

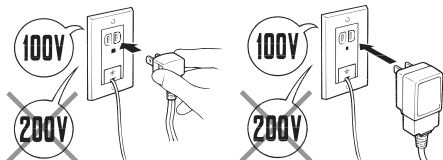
シャワートイレ本体や電源プラグに水や洗剤をかけない。
※ 感電・火災の原因になります。

指示実行

電源プラグは定期的にコンセントから抜いて乾いた布でふき取る。
※ 電源プラグにたまったホコリにより火災の恐れがあります。

【漏電保護機能付の場合】

禁止

●AC100V 以外では使用しない。
●タコ足配線はしない。
※ 火災の原因になります。

【漏電保護機能付の場合】

禁止

電源コードにキズを付けたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたり、重いものを載せたり、狭み込んだりしない。
※ 電源コードが破損し、感電・火災の恐れがあります。

指示実行

電源プラグは根元まで十分差し込む。
※ 感電・火災の恐れがあります。

禁止

ガタついているコンセントやアースターミナル付接地極付以外のコンセントは使用しない。
※ 感電・火災の原因になります。

アース接続

アース線はコンセントのアースターミナルへ確実に接続する。
※ 感電などの原因になります。

指示実行

シャワートイレ本体、電源プラグやコードが故障（異音・異臭・発煙・高温・割れ・漏水）した場合、ただちにコンセントから電源プラグを抜き、止水栓を閉め、修理を依頼し、故障したまま使用しない。
※ 感電・火災・漏水の恐れがあります。

指示実行

シャワートイレ本体や給水部から漏水した場合、コンセントから電源プラグを抜き、止水栓を閉める。
※ 感電・火災・室内浸水の恐れがあります。

	禁止	指示実行
この表示は「注意しなさい！」の記号です。（左記の『警告』、『注意』と併記して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）	この表示は、してはいけない「禁止」の記号です。	この表示は、必ず実行していただく「指示実行」の記号です。

⚠ 警告

指示実行

化学療法を受けている方、免疫不全症の方など、極度に免疫力が低下して医師の治療を受けている方は、使用に際し医師に相談する。

※ 身体への著しい障害をまねく恐れがあります。

指示実行

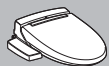
次のような方が使用されるときは、周りの方が便座温度を「切」にする。

- お子さま
- お年寄り
- 病気の方
- ご自分で温度調節のできない方
- 皮膚の弱い方
- 睡眠薬など眠気を誘う薬を服用された方
- 深酒された方
- 疲労の激しい方

※「切」以外の設定で長時間使用されますと、低温ヤケドをおこす恐れがあります。

指示実行

長時間使用するときは便座温度を「切」にする。

※「切」以外の設定で長時間使用されますと、低温ヤケドをおこす恐れがあります。

指示実行

〈乾燥付の場合〉次のような方が使用されるときは、周りの方が乾燥温度を「低」にする。

- お子さま
- お年寄り
- 病気の方
- ご自分で温度調節のできない方
- 皮膚の弱い方
- 睡眠薬など眠気を誘う薬を服用された方
- 深酒された方
- 疲労の激しい方

※「低」以外の温度で長時間使用されますと、ヤケドをおこす恐れがあります。

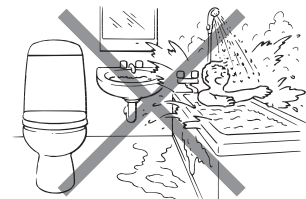
指示実行

〈乾燥付の場合〉乾燥を長時間使用するときは乾燥温度を「低」にする。

※「低」以外の温度で長時間使用されますと、ヤケドをおこす恐れがあります。

水場使用禁止

バスルームなどの湿気の多い場所には設置しない。

※ 感電・火災の原因になります。

指示実行

凍結の恐れがある場合は、必ず凍結防止操作を行う。

（☞ 34 ページ）

※ 凍結破損により火災・室内浸水の原因になります。

分解禁止

分解や改造は絶対に行わない。

※ 感電・火災・ケガの原因になります。

安全上のご注意

必ずお読みください

⚠ 注意

指示実行

プラスチック部のお手入れは、便座に使用できる（プラスチック用）洗剤を使用する。
※ トイレ用洗剤、住宅用洗剤、漂白剤、ベンジン、シンナー、クレンザー、クレゾールなどを使用すると、プラスチック部が破損し、ケガ、感電、火災の恐れがあります。

指示実行

クリップは給水ホースに、確実にはまっていることを確認する。
※ はまっていないと給水ホースが外れ、漏水する恐れがあります。

禁止

給水ホースを折り曲げたり、つぶしたりしない。
※ 漏水し室内浸水の原因になります。

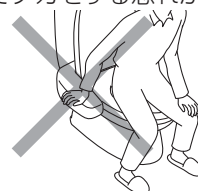
禁止

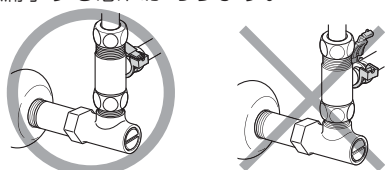
水道水以外に接続しない。
※ 機械内部の腐食により感電・火災および皮膚の炎症の原因になります。

禁止

便フタや本体の上に乗らない。
※ 破損してケガをする恐れがあります。

禁止

操作部の上に乗ったり、手をついて立ち座りなどしない。
※ 破損してケガをする恐れがあります。

禁止

止水栓に手をかけたり、乗ったりしない。
※ 漏水し室内浸水の原因になります。

禁止

お掃除のときなどに、クリップに衝撃を与えたり、引っ掛けない。
※ クリップの破損などにより給水ホースが外れ、室内浸水の原因になります。

火気禁止

タバコや灰皿などの火気類を近づけない。
※ 火災の恐れがあります。

禁止

便フタにもたれない。
※ ケガをしたり、破損したりすることがあります。

⚠ 注意

〈脱臭付の場合〉
脱臭カートリッジ取付口の奥に指を入れない。
※ ケガの恐れがあります。

定期的に配管の周りを見て水漏れがないか確認する。
※ 部品の劣化・摩耗などによる水漏れが発見できず、家財などをぬらす財産損害の恐れがあります。

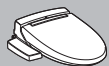
長期間使用しない場合は、水抜き操作を行い、電源プラグをコンセントから抜く。
(☞ 33 ページ)
※ 凍結破損により火災・室内浸水の恐れがあります。
※ 水が汚れて皮膚の炎症などをおこす恐れがあります。

お掃除のときには必ず電源プラグをコンセントから抜く。
※ 感電の恐れがあります。

次のような方が使用されるときは、周りの方が転倒に注意する。
- お子さま
- お年寄り
- ご自分で座ることや立ち上がることができない方

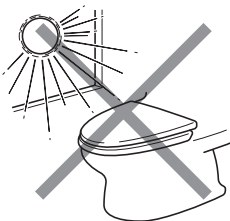
※ ケガをしたり、破損したりすることがあります。

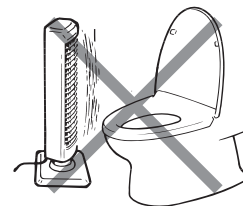
- **ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉める。**
- **ストレーナーを取り付ける際は、すき間がないようにしっかり閉める。**
- **ストレーナーを取り付ける際は、ゴミが O リングに付着していないことを確認する。**

※ O リングにゴミが付着していると、漏水し室内浸水の原因になります。

お取り扱い上のご注意

直射日光が当たらないようにしてください。

※ プラスチック部が変色することがあります。

※ リモコンや人体検知センサーの作動不良の原因になります。

シャワートイレ本体や付属品にストーブやヒーターなどを近づけすぎないでください。

※ 変色や故障の原因になります。

便フタおよび便座の開閉は乱暴に行わないでください。

※ 割れたり漏電など故障の原因となることがあります。

本体・便座・便フタなどのプラスチック部を乾いた布やトイレットペーパーなどでふかないでください。
詳しいお手入れ方法は 21 ページをご覧ください。

※ キズがつき光沢がなくなることがあります。

プラスチック部にトイレ用消臭剤をかけないでください。
かかった場合は、すぐにふき取ってください。

※ 光沢がなくなることがあります。

〈乾燥付の場合〉
絶対に温風の吹出口をふさがないでください。

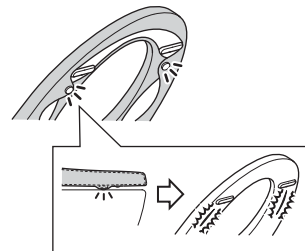
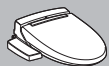
※ 故障の原因になります。

不適切な便フタカバー・便座カバーを取り付けないでください。

※ 他社市販品のご使用にあたっては、当社では責任を負いかねます。お客さまの責任でご判断ください。

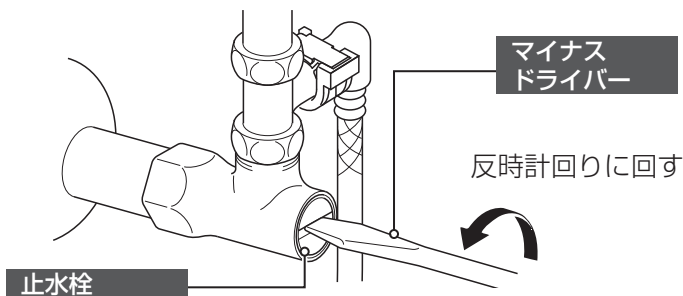
※ 便座カバーのボタン部分と便器とがぶつかり、便座が割れることがあります。

※ 着座センサーにカバーが掛かり、着座センサーが入りっぱなしになります。これにより脱臭ファンが回りっぱなしになったり、便座が冷たくなることがあります。

※ カバー類をまき込み、便フタが開ききらず倒れてくることがあります。

ご使用前の準備と確認

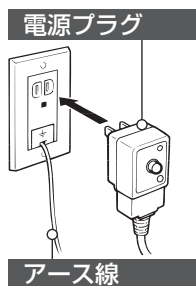
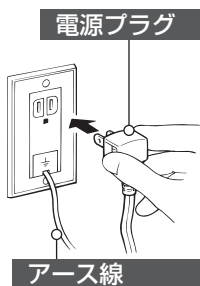
※ シャワートイレをはじめて使用される前に、
必ず以下の項目を確認してください。

STEP 1 止水栓は開いていますか？

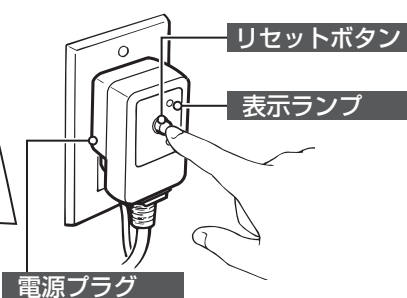
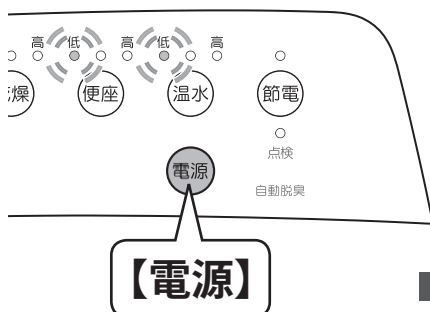
※「止水栓」が閉まっている場合は、反時計回りに回して開けます。
開いている場合は調節してありますので、必ず元の位置に戻してください。

STEP 2 電源プラグとアース線をコンセントに接続

● 「アース線」をコンセントのアース端子に接続する

● 「電源プラグ」をコンセント（AC100V）に差し込む

【漏電保護機能付の場合】

● 【便座】と【温水】の表示ランプ「低」が点灯していることを確認する

※操作部の【便座】と【温水】の表示ランプが点灯します。
※漏電保護機能付の場合、【便座】と【温水】の表示ランプが点灯しなかった場合は「電源プラグ」の「リセットボタン」または、操作部の【電源】を押してください。

● 操作部

[漏電保護機能付の場合]

※「電源プラグ」には、シャワートイレ内部で漏電が起こった場合、電気を遮断する安全装置が付いています。
電気を遮断すると表示ランプが点灯します。
（通常は消灯しています。）

[注意]

● 電源プラグを差し直すときは、10 秒程度時間をあけてください。

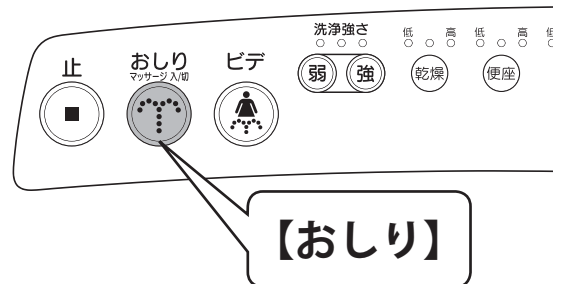
ご使用方法

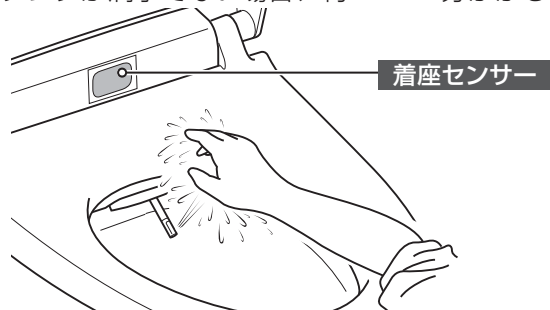
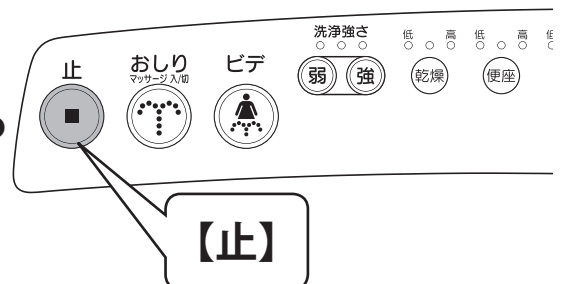
STEP 3 おしり洗浄のシャワーは出ますか？

● 着座センサーを紙や布で覆う

※ 覆う紙や布が黒色のとき、着座センサーが反応しない場合があります。
※ 人が便座に座ったことを検知する着座センサーが付いています。
おしり洗浄・ビデ洗浄・乾燥（乾燥付の場合）は、着座していないと作動しません。

●【おしり】を押す

※ 温水タンクが満水でない場合、洗浄強さが「弱」「中」にあると、シャワーが出ないことがあります。このようなときは、洗浄強さを「強」にしてください。

● ノズルの先端に手をかざしてシャワーを受け止める

※ 温水タンクが満水でない場合、約 1 ～ 2 分かかることがあります。

●【止】を押して、シャワーを止める

● 着座センサーを覆っていた紙や布を取り去る

※ 一般的な使い方（12 ページ以降）をご覧になって他の機能も確認してください。

⚠ 警告

アース接続

アース線はコンセントのアースターミナルへ確実に接続する。
※ 感電などの原因になります。

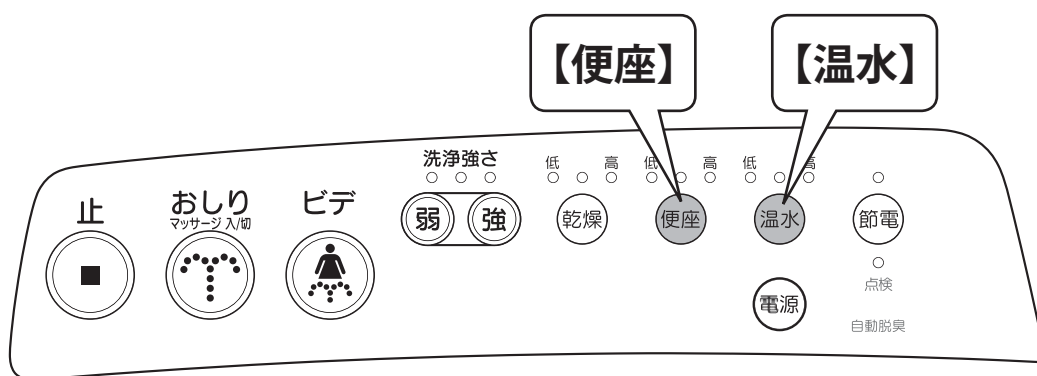
⚠ 警告

禁止

●AC100V 以外では使用しない。
●タコ足配線はしない。
※ 火災の原因になります。

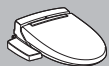
STEP 4 シャワー温度を調節

●【温水】を押す

※温水温度は 6 段階（「切（水温)」、「低（約 32℃)」～「高（約 40℃)」）に切り替えできますので、お好みの温度に設定してください。
※スイッチを押すたびに、表示ランプが切り替わります。

STEP 5 便座温度を調節

●【便座】を押す

※便座温度は 6 段階「(切 (室温)」、「低 (約 28℃)」～「高 (約 36℃)」に切り替えできますので、お好みの温度に設定してください。
※スイッチを押すたびに、表示ランプが切り替わります。

⚠警告

次のような方が使用されるときは、周りの方が便座温度を「切」にする。

- お子さま
- お年寄り
- 病気の方
- ご自分で温度調節のできない方
- 皮膚の弱い方
- 睡眠薬など眠気を誘う薬を服用された方
- 深酒された方
- 疲労の激しい方

※「切」以外の設定で長時間使用されますと、低温ヤケドをおこす恐れがあります。

（参考）

●シャワーと便座はすぐには暖まりません。あらかじめ使用する 10 ～ 15 分前にスイッチを入れておけば、快適にご使用できます。
●座ると自動的に便座ヒーターを切って、低温ヤケドをおこしにくくする“便座ヒーターオート OFF”機能が付いています。(☞ 16 ページ)
●省エネに配慮して、便座温度は最高 36℃としています。使用環境などによっては、便座が冷たいと感じる場合があります。

STEP 1

便座に座ると脱臭が作動する（自動）

※この機能のついていない機種があります。
　2 ページの「保有機能一覧」にてご確認ください。

1 座ると通常脱臭

脱臭ファンが「パワーモード」で作動し、便鉢内のニオイを除去します。

2 立ち上がると強力脱臭

脱臭ファンが能力を上げて「フルパワーモード」になり、ニオイを除去します。

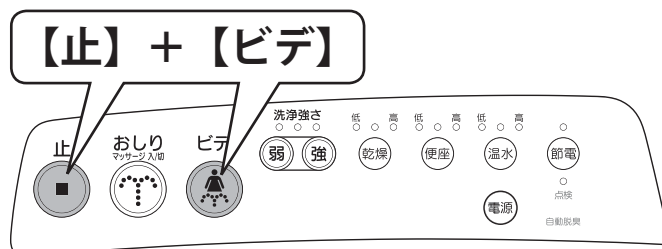
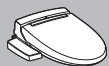
3 脱臭停止

脱臭ファンは、立ち上がってから 1 分後に自動停止します。

■自動脱臭を使用しない場合

【止】と【ビデ】を同じタイミングで 2 秒以上押す

※セット完了時、すべての表示ランプが同時に 1 回点滅します。

※再び、使用する場合も【止】と【ビデ】を同じタイミングで 2 秒以上押します。セット完了時、すべての表示ランプが同時に 2 回点滅します。

（参考）

●シャワートイレ本体にニオイを吸収する脱臭カートリッジがついています。（☞ 29 ページ）

❖便フタにカバーを取り付ける場合

不適切な便フタカバーをご使用の場合、着座センサーにカバーが掛かり、脱臭ファンが回りっぱなしになる恐れがあります。

STEP 2

シャワーで洗う

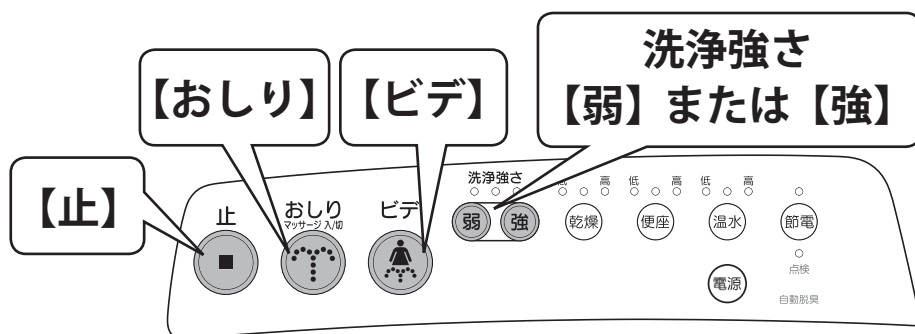
おしり洗浄

局部周辺に付着した汚物を洗い流す機能です。
ノズルの先端からシャワーが出て、おしりを洗浄します。

●【おしり】を押す

ビデ洗浄

局部周辺に付着した汚れを洗い流す機能です。
ノズルの先端からシャワーが出て、女性のデリケートな部分を洗います。

●【ビデ】を押す

洗浄強さを調節するとき

洗浄強さの【弱】または【強】を押す

※洗浄強さは３段階あります。お好みの強さに調節してください。
※洗浄強さはスイッチを押すたびに表示ランプが切り替わりますので、お好みの強さに調節してください。
※洗浄強さの感じ方には個人差があります。

● 止めるときは【止】を押す

マッサージ洗浄をするとき

おしり洗浄中に、もう一度【おしり】を押す

［注意］
- 水道圧が低いところでは、洗浄強さが「弱」にあると、ノズルが出ないことがあります。このようなときは、一度「強」にしてから、お好みの強さに再度調節してください。
- 便座には、深く腰掛けてください。
深く腰掛けるとシャワーの飛び散りが少なくなります。
- 長時間の洗浄や洗いすぎに注意してください。
※常在菌を洗い流してしまい､体内の菌バランスが崩れる可能性があります。
- 局部の治療･医療行為を受けている方は、使用については、医師の指示を守ってください。

（参考）
- おしり洗浄の強さを一番強くしてもまだ弱いと思われる方のために、シャワーの「強」設定をさらに強くする機能が付いています。
（☞ 17 ページ）
- 洗浄強さを５段階にすることができます。
（☞ 17 ページ）

❖おしり・ビデ洗浄は
２分後に自動的に停止するセルフストップ機構付です。

❖マッサージ洗浄は
マッサージ洗浄の感じ方には、個人差があります。

❖ノズルオートクリーニングについて
おしり・ビデ洗浄の前と後に自動でノズルを洗うノズルオートクリーニング機能が付いています。

❖ノズル付近から出る水は
洗浄の前後や温水温度を調節したときなど、ノズル付近から水が出ますが、これは機能上必要なもので、故障ではありません。（☞ 20 ページ）

STEP 3

温風で乾かす

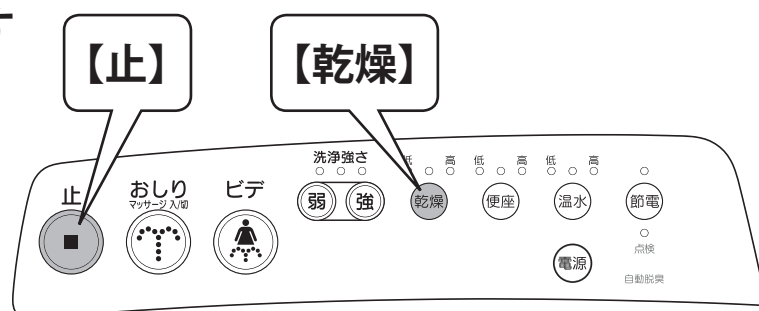
※この機能のついていない機種があります。
　2ページの「保有機能一覧」にてご確認ください。

温風乾燥

温風が出て、シャワーでぬれた部分を乾燥します。

●【乾燥】を押す

※温風の温度は3段階に調節できます。
※乾燥が作動中は、一時的に脱臭が停止します。

● 止めるときは、【止】を押す

温風温度を変えるとき

乾燥中に、もう一度【乾燥】を押す

※スイッチを押すごとに「中」から「高」→「低」→「中」と温風温度が切り替わります。
※スイッチを押すたびに表示ランプが切り替わりますのでお好みの温度に設定してください。
※表示ランプは数秒後に消灯します。
※乾燥を止めた後は、初めの設定に戻ります。

⚠警告

指示実行

次のような方が使用されるときは、周りの方が乾燥温度を「低」にする。

- お子さま
- お年寄り
- 病気の方
- ご自分で温度調節のできない方
- 皮膚の弱い方
- 睡眠薬など眠気を誘う薬を服用された方
- 深酒された方
- 疲労の激しい方

※「低」以外の温度で長時間使用されますと、ヤケドをおこす恐れがあります。

（参考）
●洗浄後、トイレットペーパーでおしりの水滴を軽く取ってから【乾燥】を押せば、素早く乾燥できます。
●温風温度を「高」または「低」から始まるようにする「温風始動温度切替え」機能が付いています。
（☞16ページ）

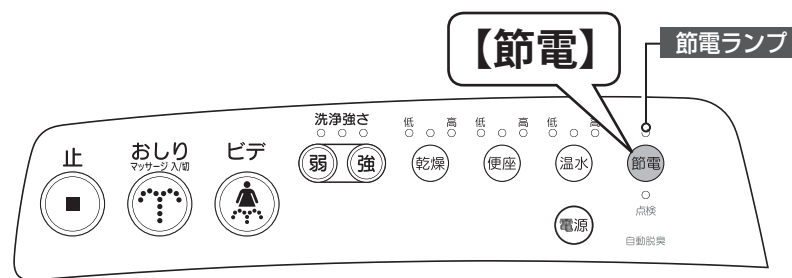
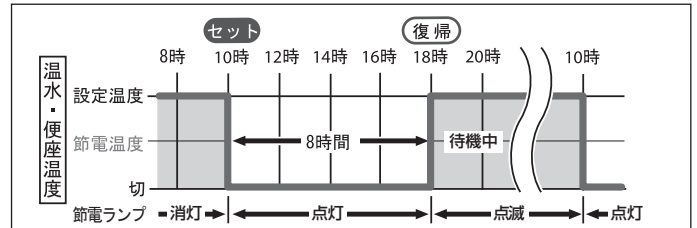
❖温風乾燥は
4分後に自動的に停止するセルフストップ機構付です。

節電【ワンタッチ節電（8 時間）】

ワンタッチ節電（8 時間）

長時間使用しない夜間など、スイッチを押してから 8 時間、温水と便座のヒーターを「切」にして消費電力を抑える節電機能です。8 時間後、温水温度と便座温度を設定状態に戻し、24 時間ごと（毎日同じ時間から）に繰り返します。

1 【節電】を押す

※ 操作部の節電ランプが点灯します。

※ 8 時間経過すると、自動的に機能は元の状態に戻り「待機中」になります。

（参考）
● 停電時や電源プラグを抜いたときは、ワンタッチ節電の設定がリセットされます。

ワンタッチ節電を解除するとき

【節電】を押す

※ 操作部の節電ランプが消灯します。

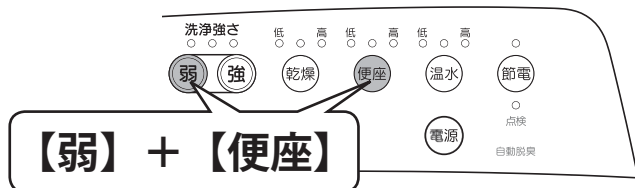
（参考）
● 節電時は温水と便座の温度を下げているため、冷たいと感じる場合があります。その際は節電を解除してください。
● 節電機能を使用しない場合でも便フタを閉じておくと節電に効果的です。

もっと快適に

低温ヤケドを防ぐ（便座ヒーターオート OFF）

便座を暖めているとき（便座ヒーター入）に座ると、自動的に便座ヒーターが「切」になり、低温ヤケドをおこしにくくする機能が付いています。お買い上げ時は設定されていません。

洗浄強さ【弱】と【便座】を同じタイミングで 2 秒以上押す

※ セット完了時、すべての表示ランプが同時に 1 回点滅します。

※ この機能を使用中に連続で使用すると便座がぬるく感じるときがあります。

※ 立ち上がると自動的に復帰して、設定した便座温度まで暖めます。

元の設定に戻すとき

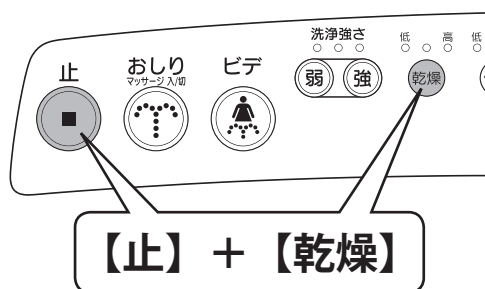
洗浄強さ【弱】と【便座】を同じタイミングで 2 秒以上押す

※ セット完了時、すべての表示ランプが同時に 2 回点滅します。

温風乾燥の始めの温度を変える〈乾燥付の場合〉

温風温度を「高」または「低」から始まるようにすることができます。お買い上げ時は「中」に設定されています。

【止】と【乾燥】を同じタイミングで 2 秒以上押す

※ セット完了時、すべての表示ランプが同時に 1 回点滅します。

※ 乾燥始動時の温風温度が順次切り替わります。

※ 乾燥温度ランプ表示も順次切り替わります。

高 乾燥 低○ ○ ●高

中 乾燥 低○ ● ○高

低 乾燥 低● ○ ○高

※ 切替え順は下図のとおりです。

セット操作	始動温度	使用中、乾燥スイッチを押したときの温度の切り替わり方		
		1 回目	2 回目	3 回目
お買い上げ時の設定	中	高	低	中
1 度目	低	中	高	低
2 度目	高	中	低	高

元の設定に戻すとき

【止】と【乾燥】を同じタイミングで 2 秒以上押す操作を乾燥始動時の温度が「中」になるまで繰り返す

※ セット完了時、すべての表示ランプが同時に 1 回点滅します。

⚠警告

次のような方が使用されるときは、周りの方が乾燥温度を「低」にする。

- お子さま
- お年寄り
- 病気の方
- ご自分で温度調節のできない方
- 皮膚の弱い方
- 睡眠薬など眠気を誘う薬を服用された方
- 深酒された方
- 疲労の激しい方

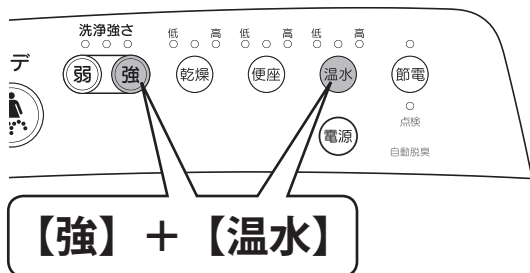
※「低」以外の温度で長時間使用されますと、ヤケドをおこす恐れがあります。

もっと快適に

洗浄強さをさらに強くする

おしり洗浄の洗浄強さ「強」を、さらに 1 段階強くすることができます。お買い上げ時は設定されていません。

洗浄強さ【強】と【温水】を同じタイミングで 2 秒以上押す

※ セット完了時、すべての表示ランプが同時に 1 回点滅します。

[注意]
● 洗浄強さを強くした場合、お湯切れが早くなります。

元の設定に戻すとき

洗浄強さ【強】と【温水】を同じタイミングで 2 秒以上押す

※ セット完了時、すべての表示ランプが同時に 2 回点滅します。

洗浄強さを細かく設定する

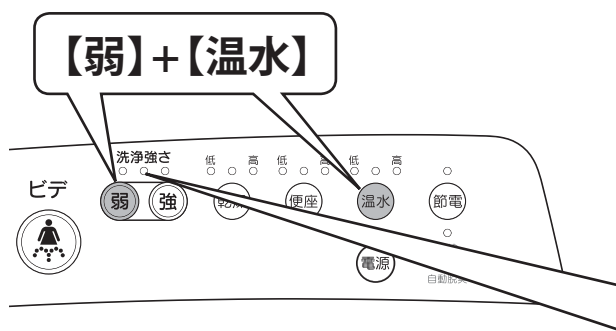
おしり洗浄・ビデ洗浄の洗浄強さを 3 段階から 5 段階に切り替えることができます。

洗浄強さ【弱】と【温水】を同じタイミングで 2 秒以上押す

※ セット完了時、すべての表示ランプが同時に 1 回点滅します。

3 段階

表示ランプ	洗浄強さ
● ○ ○	弱
○ ● ○	中
○ ○ ●	強

➡ 5 段階

表示ランプ	洗浄強さ
● ○ ○	弱
● ● ○	弱中
○ ● ○	中
○ ● ●	中強
○ ○ ●	強

※「弱」と「中」の間の強さは「弱」「中」両方のランプが点灯し、「中」と「強」の間の強さは「中」「強」両方のランプが点灯します。

元の設定に戻すとき

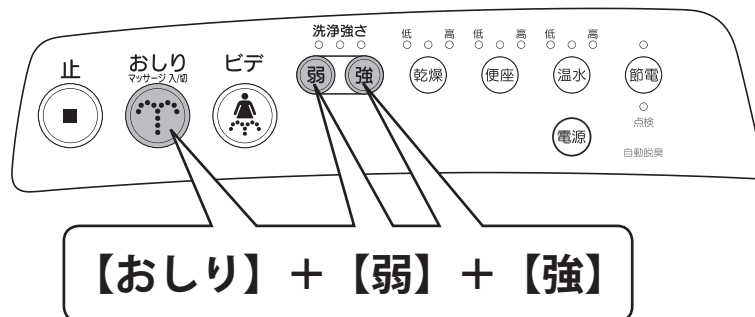
洗浄強さ【弱】と【温水】を同じタイミングで 2 秒以上押す

※ セット完了時、すべての表示ランプが同時に 2 回点滅します。

お買い上げ時の設定に戻す

「便利な使い方」の操作で本商品の設定を変更した場合でも、すべての機能をお買い上げ時の設定に戻すことができます。

【おしり】と洗浄強さ【強】、【弱】を同じタイミングで 2 秒以上押す

※ セット完了時、すべての表示ランプが同時に 2 回点滅します。

■お買い上げ時の設定は

お買い上げ時の設定は以下のようになっています。

機能説明		お買い上げ時の設定
脱臭	自動脱臭	入
節電	ワンタッチ節電	切
洗浄強さ	「強」をさらに 1 段強くする	切
温水温度		低
便座温度		低
便座ヒーターオート OFF		切
乾燥	温風始動温度	中

変更した設定の記憶について

「便利な使い方」などで設定を変更した場合、コンセントを抜いたり、電源スイッチを「切」にしても変更した設定は記憶されています。（ワンタッチ節電は電源プラグを抜くと設定がリセットされます。（☞ 15 ページ）

知っておいていただきたいこと

温水になるまで約 10 分かかります。

「おしり洗浄またはビデ洗浄」を長時間使用すると、シャワー温度がしだいに低下し、最後は水になります。温水になるまで約 10 分間かかります。

シャワーと便座の温度は一定に調節しています。

シャワーは、スイッチの設定に合わせて一定の温度に調節しています。

温水タンク内制御温度

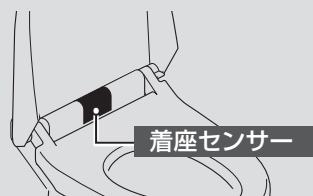
切 (水温)、低（約 32℃）〜高（約 40℃）

便座は、スイッチの設定に合わせて一定の温度に調節しています。

便座温度

切 (室温)、低（約 28℃）〜高（約 36℃）

着座センサーで誤操作を防止します。

人が座っていないときに誤ってスイッチを押してもシャワーが噴出しないよう、着座センサーが付いています。

※便座に座らないと［おしり洗浄］、［ビデ洗浄］、［乾燥（乾燥付の場合）］の各機能が作動しません。
※便座に便座カバー・便フタカバーを付けた場合、不適切なカバーをご使用になると着座センサーが入りっ放しになったり、また入らなかったりすることがあります。

着座センサーは光の反射を利用しているため、次のような場合に正しく作動しないことがあります。

●前にかがんだり、前寄りに座った場合
（特に幼児や児童などの身長が低い方がご使用の場合）
※便座に深めに座るなど、座り方を変えてみてください。
●黒色や毛羽立った生地などの光が反射しにくい衣類を着ている場合
※肌を検知させるようにしてください。
●センサーに汚れや水滴などが付着している場合
※汚れや水滴などを取り除いてください。

便座・便フタはゆっくり閉じます。

便座・便フタには、誤って閉じたときなど、衝撃をやわらげるため、ゆっくりと閉じるように［スローダウン機構］が装備されています。

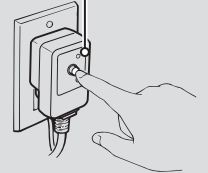
※強引に閉じると故障の原因になることがありますのでご注意ください。

漏電が起こるとランプが点灯し、電気を遮断します。〈漏電保護機能付の場合〉

本体内部で漏電が発生すると、事故防止のために各機能を停止させ、電源プラグの「表示ランプ」を点灯させます。また、電源プラグに水がかかると「表示ランプ」が点灯する場合があります。

表示ランプが点灯したときは

① 電源プラグをコンセントから抜き、10 秒程度時間をあけて再び差し込みます。
②「リセットボタン」を押してランプを消灯させます。

表示ランプ

※上記の操作をしても再びランプが点灯するようであれば、電源プラグをコンセントから抜き、お求めの取扱店または、LIXIL 修理受付センターへご連絡ください。

こんなときは

ノズルの付近から出る水は？

洗浄の前後や温水温度を調節したときなど、ノズル付近から水が出ますが、これは機能上必要なもので、故障ではありません。

※上記以外のときやいつまでも水が止まらない場合は、止水栓を閉め、電源プラグをコンセントから抜き、お求めの取扱店または LIXIL 修理受付センターへご連絡ください。

洗浄強さが「弱」ではノズルが出てこない。

このシャワートイレは、水道圧によってシャワーを噴出する構造となっています。
水道圧が低いところでは、洗浄強さが最弱付近にあると、シャワーが届かないことがあります。
このようなときは、洗浄強さを強くしてください。
(☞ 13,17 ページ)

使い始めに温風がにおう。〈乾燥付の場合〉

新しいうちは、温風が少しにおうことがありますが、故障ではありません。
ご使用とともに消えていきます。

省エネのために。

- ●使用後は便フタを閉じる
- ●便座カバーを取り付ける
- ●便座や温水の設定はむやみに高温にしない
- ●季節の気温に合わせてこまめに温度調節をする
- ●節電機能のある機種ではできるだけ節電機能を利用する
- ●長時間の外出など、不在時はこまめに電源を切る

※便座カバーは、こまめに洗濯して清潔さを保ってください。
※凍結の恐れがある場合は、電源プラグはコンセントから抜かず、電源を入れておく必要があります。「凍結しそうなときは」をご参照ください。
(☞ 34 ページ)

ラジオやテレビに雑音が入る。

シャワートイレにラジオやテレビを近づけると、雑音が入ることがあります。このような場合は、雑音が入らない位置までラジオやテレビを離して使用してください。

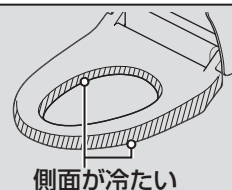
使う洗剤は？

便座や便フタなどのプラスチック部のお手入れには、プラスチックに害のない洗剤を使用してください。
また、便器部（陶器）のお手入れには、塩素系・酸性洗剤・消毒剤を使用しないでください。

小用時には。

- ●洋風便器で立小便をする場合、小便がはねて外へ飛散し、床や壁を汚すことがあります。座ってご使用いただければ、小便の飛散は軽減できます。
- ●着座した姿勢で小便をする場合、着座位置や小便をする方向によっては、はね返ることがあります。着座位置をずらすか、トイレットペーパーを敷いていただければ、はね返りは軽減できます。

便座の側面が冷たい。

便座の暖房機能は便座上面を暖めることを目的としているため、側面に触ると冷たく感じることがあります。

お掃除・お手入れ

お手入れの効果を正しくあげるため、汚れや場所にあった洗剤、道具を使いましょう。
また、少しでも楽にお掃除・お手入れしたい方にはおすすめの便利グッズもあります。
ただし、使ってはいけない道具・洗剤もありますのでご注意ください。

お掃除道具

種　類		使う場所
柔らかい布	使い古したタオル、着古したＴシャツなどを適当なサイズに切ってお使いください。	便座・便フタ カバー類・便器部
スポンジ	小さく、できるだけ柔らかなもの。	ノズル先端部
ゴム手袋	手アレ防止に。水や洗剤が入らないように折り返して使いましょう。	－
歯ブラシ	隠れた部分や細かいところに大活躍。使い古しのものを。	脱臭カートリッジ

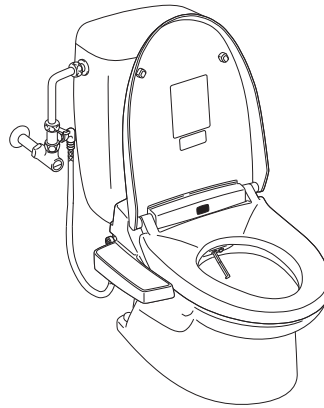
LIXIL のお掃除グッズ

種　類		使う場所
トイレ用お掃除ティッシュ〈CWA-36-4SET〉	プラスチックを傷めず、除菌効果に優れています。使用後、便器にそのまま流せます。	便座・便フタ・カバー類
シャワートイレお掃除クリーナー〈CWA-20〉	プラスチックを傷めないスプレー式。シュッと吹きかけふき取るだけ。脱臭剤配合で、便器にも使えます。	便座・便フタ カバー類・便器部

お掃除の場所と汚れの種類

便フタ・便座・カバー	23 ページ
ホコリ・手アカ・小水のシミ	

ノズル	27 ページ
水アカ・小水のシミ	

便座と便フタのすき間	25 ページ
ホコリ・手アカ・小水のシミ	

便器
便器の取扱説明書をご覧ください。

[注意]
●お掃除･お手入れのときは、必ず【電源】を押して、すべての表示ランプが消灯していることを確認してください。

⚠警告

水かけ禁止

シャワートイレ本体や電源プラグに水や洗剤をかけない。
※ 感電・火災の原因になります。

⚠注意

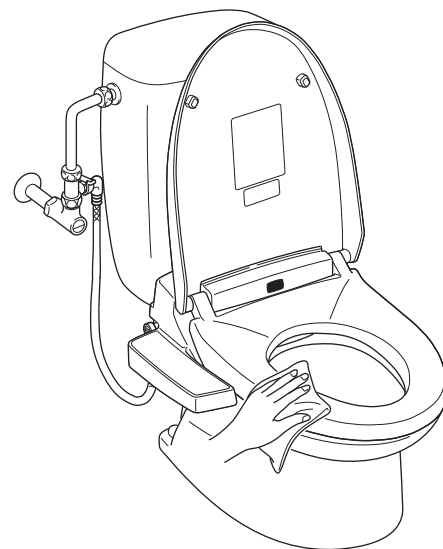
指示実行

プラスチック部のお手入れは、便座に使用できる（プラスチック用）洗剤を使用する。
※ トイレ用洗剤、住宅用洗剤、漂白剤、ベンジン、シンナー、クレンザー、クレゾールなどを使用すると、プラスチック部が破損し、ケガ、感電、火災の恐れがあります。

□お掃除・お手入れ方法

便座・便フタのお掃除

便座・便フタ・カバー類（プラスチック部）のお掃除

- **柔らかい布で水ぶきをしてください。**
- **お手入れには当社純正の「トイレ用おそうじティッシュ」または「シャワートイレお掃除クリーナー」（別売品）をおすすめします。（☞ 48 ページ）**

水ぶきするのはなぜ？

汚れは放っておくと落ちにくくなりますので、固くしぼった柔らかい布でこまめに水ぶきをしましょう。
また、水ぶきは静電気を防ぎます。静電気はホコリを引き寄せ、黒く汚れる原因になります。

使用できる洗剤は？

当社純正の「トイレ用おそうじティッシュ」または「シャワートイレお掃除クリーナー」をおすすめします。
市販の便座用洗剤も使用できますが、中には適さない商品もあります。
ご不明な点は、洗剤メーカーにご確認してからご使用ください。
※別売品の購入方法については「別売品の購入方法」（☞ 49 ページ）をご覧ください。

[注意]
- 乾いた布やトイレットペーパーでふかないでください。
  ※キズが付く原因になります。

❖抗菌部位について
ノズル・便座・便フタ・カバーに抗菌プラスチックを、操作部のスイッチシートには抗菌シートを採用しています。

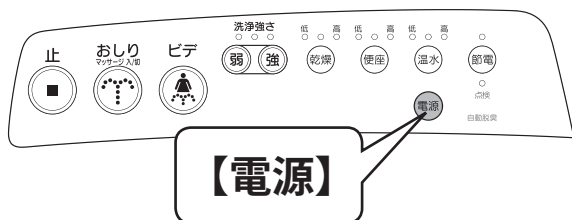
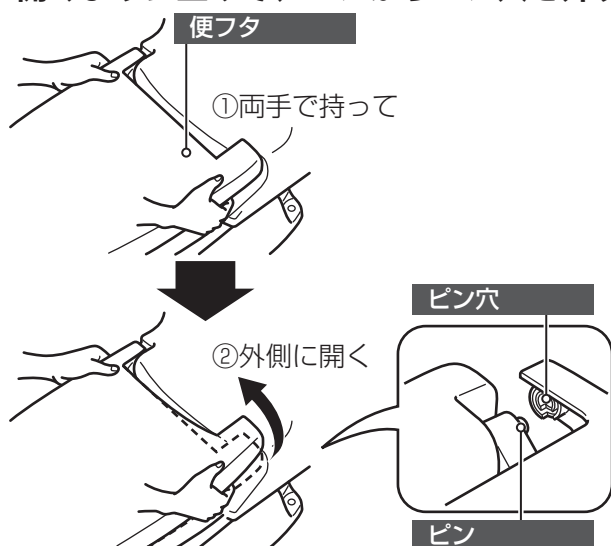
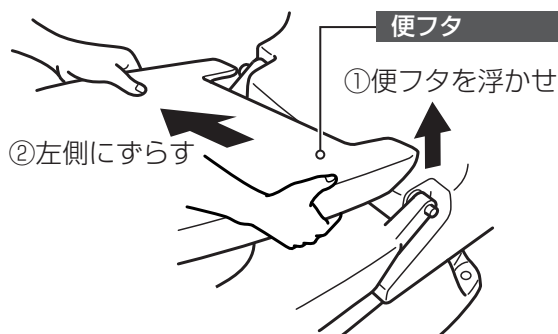
❖キレイ便座について
キレイ便座は、汚れのたまりやすい便座のつなぎ目をなくした、お掃除のしやすい便座です。

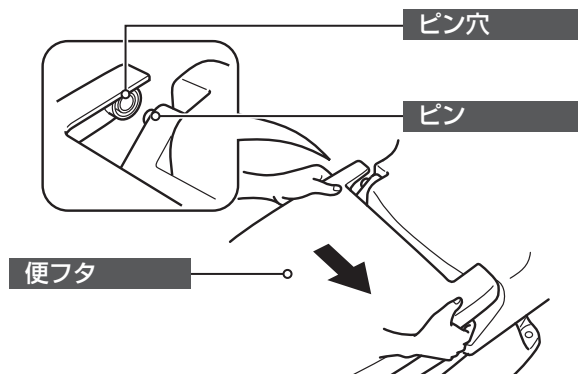
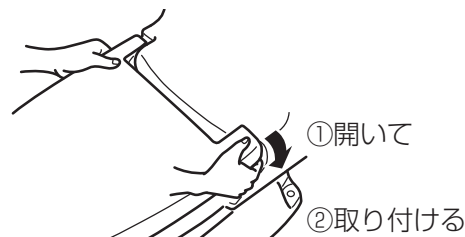
❖ KILAMIC 抗菌商品について
- KILAMIC 抗菌商品は、商品表面の細菌の繁殖を抑える効果を持ちますが、ホコリ・油膜などが表面を覆った場合には、十分な抗菌効果を発揮できないことがあります。
- KILAMIC 抗菌商品は、商品表面の細菌の繁殖を抑える効果を持ちますが、細菌が全くなくなるわけではありません。したがって感染などが防げるわけではありません。
- 抗菌製品技術協議会の抗菌製品規格 SIAA に適合した製品です。
  KILAMIC 抗菌商品は、経済産業省と抗菌製品技術協議会 (SIAA) の推進によって抗菌 JIS 規格 (JISZ2801) から ISO 規格 (ISO22196) になりました。

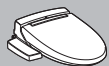
便フタを外して掃除する

便フタは、簡単に外せます。普段、隠れているヒンジ部を掃除するときや便フタを丸洗いするのに便利です。

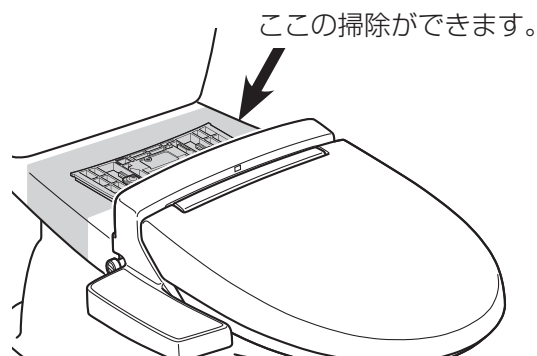
便フタの取外し

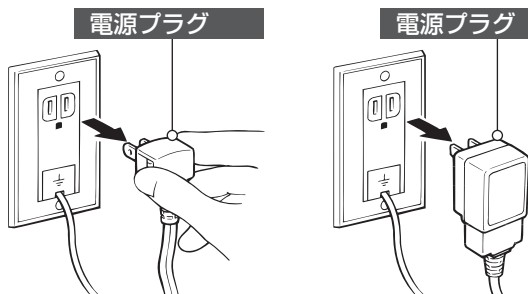
1 【電源】を押して「切」にし、すべての表示ランプが消灯していることを確認する

2 便フタを両手で持ち、右側を外側に開くように上げて、ピンからピン穴を外す

3 便フタを浮かせて左側にずらし、便フタを外す

便フタの組付け

1 便フタ左側のピン穴と本体左側のピンを合わせて差し込む

2 便フタ右側のピン穴を外側に開き、ピン穴とピンを合わせて、便フタを取り付ける

3 【電源】を押して「入」にし、【洗浄強さ】の表示ランプが点灯していることを確認する

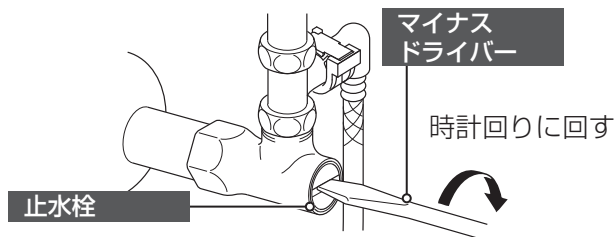
[注意]
- 便フタに無理な力を加えないでください。
  ※破損する恐れがあります。
- 便フタを外した状態で便座を開かないでください。
  ※カバーや便座にキズが付いたり破損する恐れがあります。
- 便フタを外したまま使用しないでください。

隠れた部分のお掃除【本体スライド着脱】

本体を外して便器全体や本体裏側の掃除ができます。
細かいところまで、しっかり掃除したいときに便利です。

※分岐金具と本体の給水接続が接続銅管の場合は、本体を外して掃除することはできません。

本体の取外し

1 電源プラグをコンセントから抜く

[注意]
● 電源プラグを必ずコンセントから抜いてください。
※故障の原因になります。

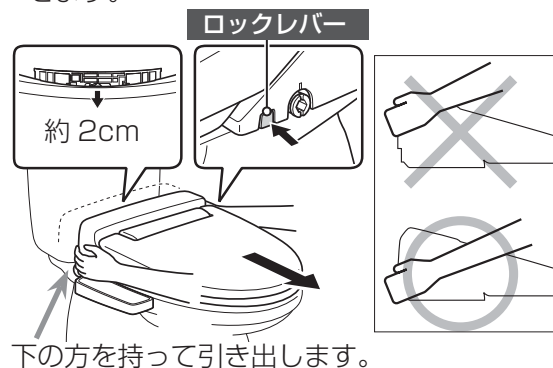
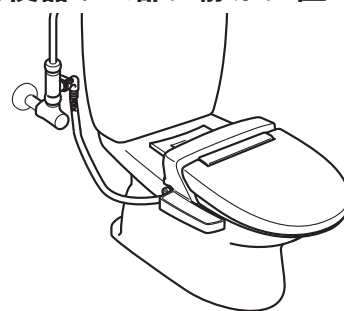
2 止水栓を閉めて給水を止める

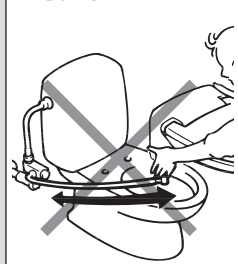
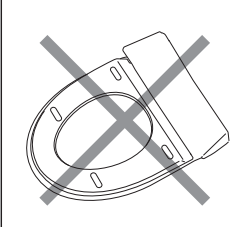
※止水栓は調節されているので、元の位置（どのくらい回したか）を覚えておいてください。

3 温水タンクの水を抜く（☞ 33 ページ）

※温水タンク内に水が入っていると、漏電の恐れがあります。

4 本体を外す

① 本体向かって右側にあるロックレバーを押しながら、**約 2cm** スライドさせます。
② **ロックレバーから指を離して**、さらにスライドさせます。

下の方を持って引き出します。

5 本体を便器リム部に静かに置く

[注意]
● コード類や本体給水ホースを引っ張らないでください。
※破損や漏水の恐れがあります。
● 本体の取外し時や掃除時には、ていねいに扱ってください。
※漏水・故障の原因となります。
● 本体は、電源を入れたまま絶対に裏返さないでください。
※故障の原因になります。

● 引っ張らないで！

● 電源を入れたまま裏返さないで！

隠れた部分のお掃除

シャワートイレ本体の掃除は・・・

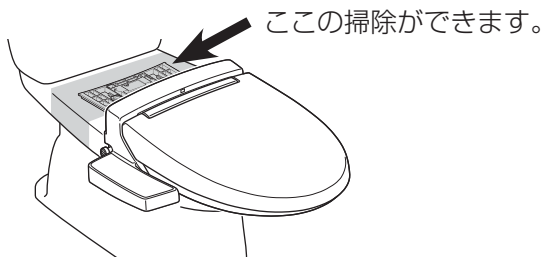
● 柔らかい布で水ぶきをしてください。

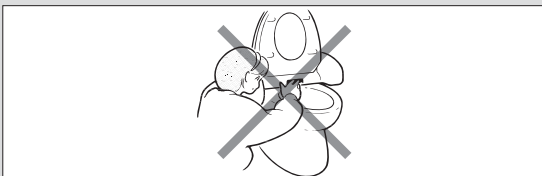
● お手入れには当社純正の「トイレ用おそうじティッシュ」または「シャワートイレお掃除クリーナー」（別売品）をおすすめします。

（☞ 48 ページ）

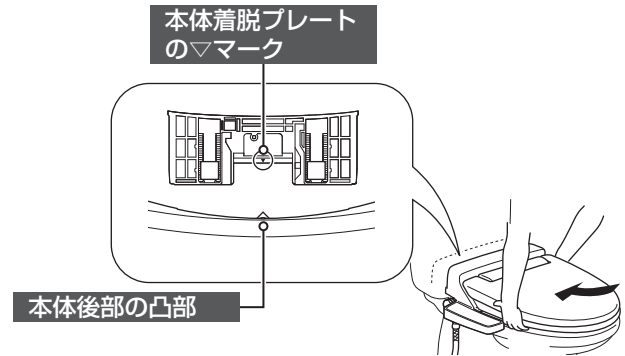
便器部の掃除は・・・

● 便器の取扱説明書にしたがってください。

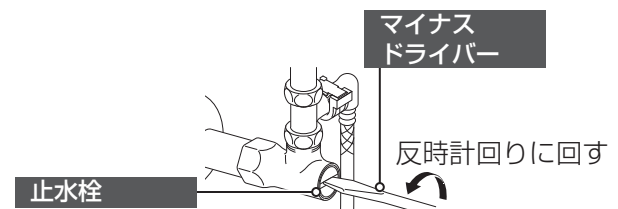
⚠警告

シャワートイレ本体や電源プラグに水や洗剤をかけない。
※ 感電・火災の原因になります。

［ 注意 ］
- 便器を掃除しているとき、洗剤が本体にかからないように注意してください。また、便器に洗剤が残らないように水ぶきしてから本体を取り付けてください。
  ※ 洗剤が本体に付着すると故障の原因になります。
- 開口部やノズル付近に手や物を入れないでください。
  ※ 手をケガしたり、故障の原因になります。

本体の組付け

1 本体を取り付ける

① シャワートイレ本体を便器の上に置き、本体着脱プレートの▽マークと本体後部にある凸部を合わせる

② 本体を本体着脱プレートが見えなくなるまで奥にゆっくりスライドさせる
※ カチッと音がなるまでしっかりと押し込んでください。
固定後、本体を軽く前後左右に揺らして、確実に固定されていることを確認する

2 止水栓を元の位置まで開く

各部に漏水がないことを確認してください。

3 電源プラグをコンセントに差し込む

■ 再び使用するとき
必ずご使用前の準備と確認を行ってください。
（☞ 9 ページ）

［ 注意 ］
- 本体が確実に固定されていることを確認してください。
  ※ 固定が不十分ですと便器から本体が外れることがあります。
- ホース類を無理に曲げないでください。
  ※ つぶれて元に戻らなくなったり、給水しなくなります。

ノズルのお掃除

この機能のついていない機種があります。
2 ページの「保有機能一覧」にてご確認ください。

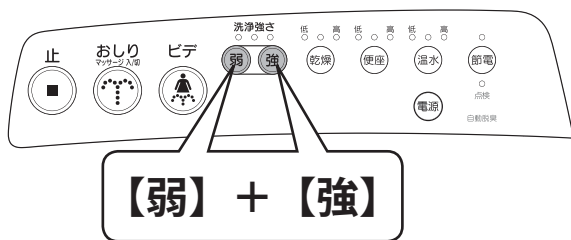
ノズルの掃除には、以下の方法があります。

●使用中（着座中）にお好みでノズルを洗うことができます。**“ノズル洗浄”**
●日頃の掃除時、ノズルを引き出し、しつこい汚れをスポンジなどで落とせます。

使用中（着座中）のノズル掃除

● 使用中（着座中）に ノズルを洗いたい。（ノズル洗浄）

1 洗浄強さ【弱】と【強】を同じタイミングで 2 秒以上押す

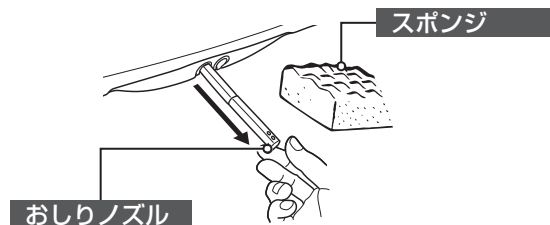
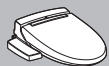
※ノズルが少し伸び出て、約 3 秒間洗浄します。

❖オートクリーニング機能について
おしり・ビデ洗浄の前後に、ノズルやその周辺を自動洗浄する**オートクリーニング機能**が付いています。

お手入れ時のノズル掃除

● お手入れ時、ノズルを しっかり掃除したい。

1 ノズルを引き出す

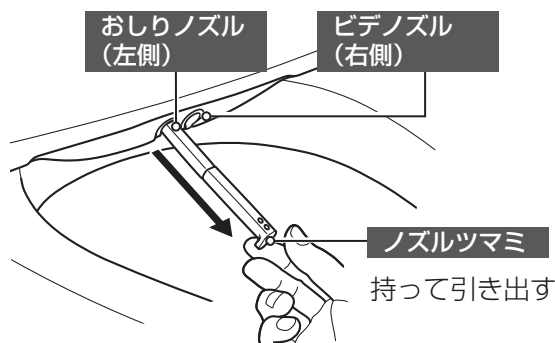
※おしりノズル、またはビデノズルを手で引き出します。

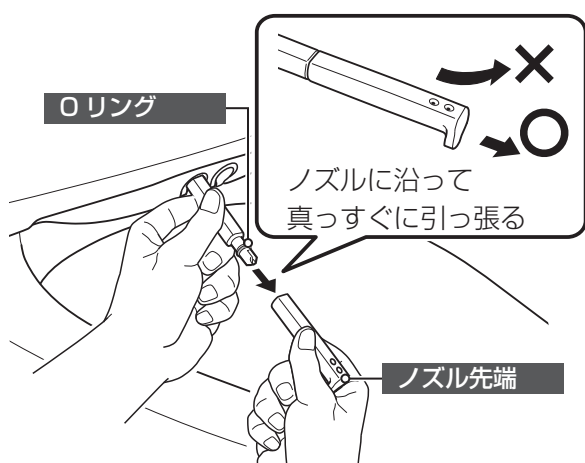
2 スポンジなどで掃除する

[注意]
●ノズルに強い力をかけないでください。
※故障の原因になります。
●ノズルを無理に引っ張ったり、曲げたりしないでください。
※故障の原因になります。
●歯ブラシでこすらないでください。
※キズが付く原因になります。

ノズルの先端を取り替えたい

ノズル先端の汚れが落ちない場合は、先端のみ交換することができます。
※別売品の購入方法については「別売品の購入方法」（☞ 49 ページ）をご覧ください。

ノズル先端の取外し

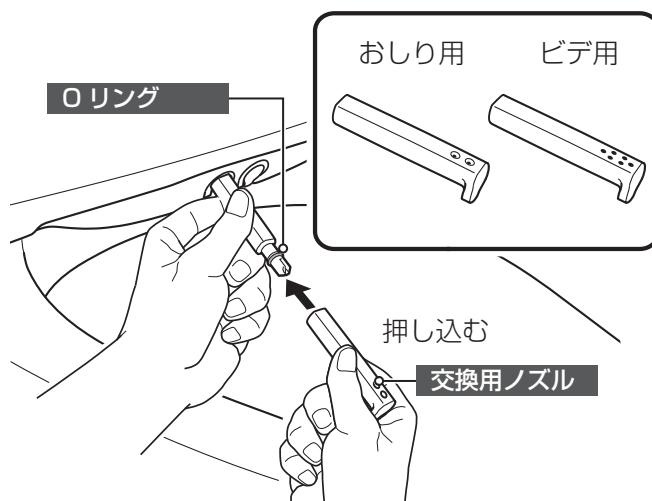
1 電源プラグをコンセントから抜く

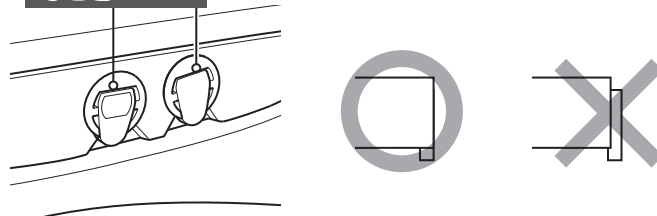
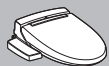
2 ノズルツマミを持って、ノズルを引き出す

3 引き出したノズル先端を真っすぐに引っ張り、取り外す

※ノズル先端を引っ張る方向に注意し、ノズルに沿って真っすぐに引っ張ってください。

[注意]
- ノズル先端を取り外す際は、ノズルツマミを持たないでください。
- 取り外す際、陶器部などで、手をぶつけないよう注意してください。
- O リングにキズを付けないよう注意してください。

ノズル先端の取付け

1 交換用のノズル先端を、ノズルに差し込む

※ノズルは、自動で本体内に戻る仕様になっています。ノズルが本体内に入ってしまった場合は、ノズル先端をそのまま押し込んで取り付けます。
※ノズル先端が、確実にはまっていることを確認してください。

[注意]
- ノズルは、おしり用とビデ用があります。お間違えのないよう注意してください。
- ノズル先端は、穴が開いている方が上になるように取り付けてください。
- O リングにキズを付けないよう注意してください。

2 「結合部」を確認する

3 電源プラグをコンセントに差し込む

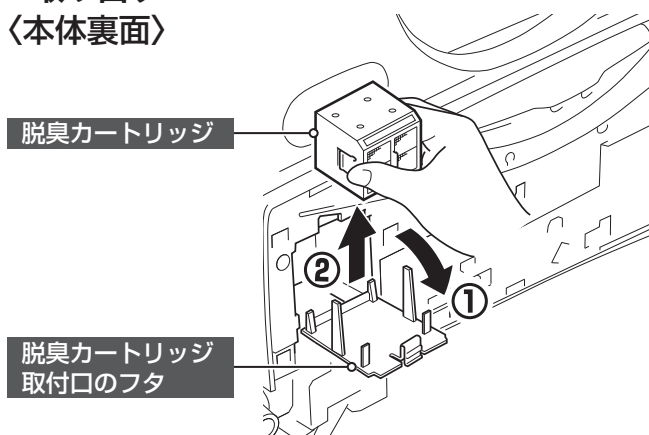
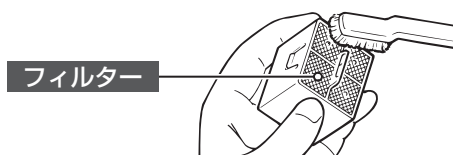
■お手入れのあとは、電源プラグをコンセントに差し込んで、便座と温水の温度設定が電源プラグを抜く前と同じであることを確認してください。

■電源プラグを指し直す時は、10 秒程度時間をあけてください。

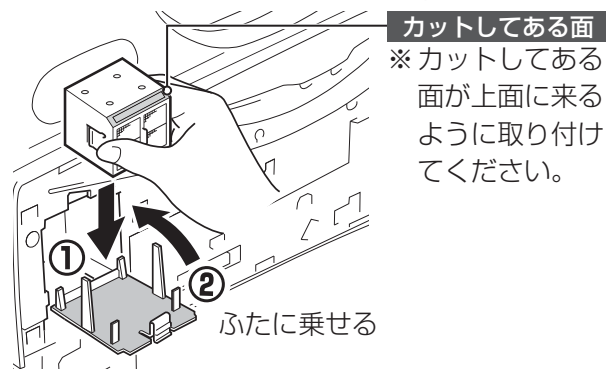
脱臭効果が弱くなったら〈脱臭付の場合〉

この機能のついていない機種があります。
2 ページの「保有機能一覧」にてご確認ください。
「脱臭カートリッジ」にホコリなどが付着すると十分な脱臭ができなくなります。ニオイが気になりだしたら、お手入れしてください。

脱臭カートリッジのお手入れのしかた

1 電源プラグをコンセントから抜く
2 本体を便器から外す（☞ 25 ページ）
3 本体裏面にある、「脱臭カートリッジ取付口」のフタを開け、脱臭カートリッジを取り出す
〈本体裏面〉

4 フィルターのホコリなどを歯ブラシなどで取り除く

[注意]
●「脱臭カートリッジ」本体は水洗いできません。

5「脱臭カートリッジ」を組み付ける

※カットしてある面が上面に来るように取り付けてください。

6 本体を便器に取り付ける（☞ 26 ページ）
7 電源プラグをコンセントに差し込む

⚠注意

禁止

脱臭カートリッジ取付口の奥に指を入れない。
※ ケガの原因になります。

指示実行

脱臭カートリッジ組付け時に、脱臭カートリッジフタと本体の間に指を挟まないように注意する。
※ ケガの原因になります。

■お手入れの後は、電源プラグをコンセントに差し込んで、便座と温水の温度設定が電源プラグを抜く前と同じであることを確認してください。

■再び使用するとき
必ずご使用前の準備と確認を行ってください。
(☞ 9 ページ)

■「脱臭カートリッジ」のお取替えについて
お手入れしてもまだニオイが気になる場合、「脱臭カートリッジ」の寿命ですので、新品と交換してください。
「脱臭カートリッジ」の寿命は、通常使用で約 7 年です。
※「脱臭カートリッジ」の寿命は、4 人家族（男性 2 人、女性 2 人）の平均使用時間を基本としています。
※ お取替用の「脱臭カートリッジ」のお求めは、「別売品のご案内」(☞ 48 ページ) をご覧ください。

■使用開始日の記入
シャワートイレ使用開始日を日付記入欄に記入し、「脱臭カートリッジ」交換目安としてください。また、交換後は新しい「脱臭カートリッジ」にある日付ラベルに使用開始日を記入してください。

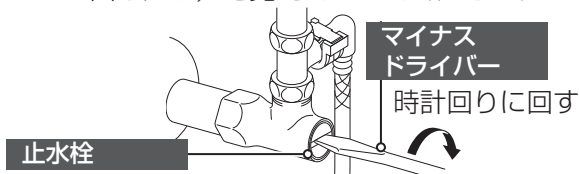
シャワートイレ使用開始日をご記入ください。
年　　月　　日

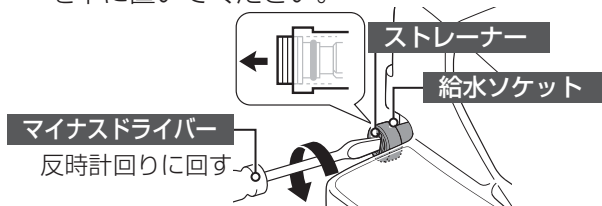
シャワーが弱くなったら

長期間使用して便器洗浄やシャワーの勢いが弱くなりはじめたら、以下の手順でストレーナーの掃除を行ってください。（目安としては 2 年に 1 回程度です。）

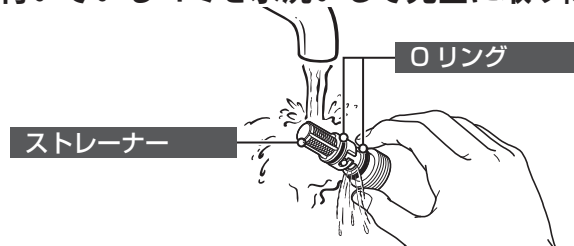
ストレーナーのお掃除のしかた

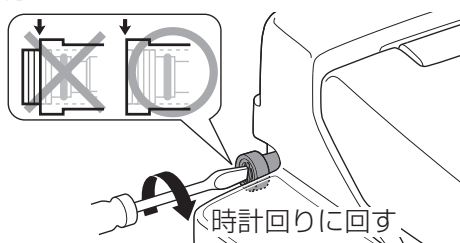
1「止水栓」を閉めて、給水を止める

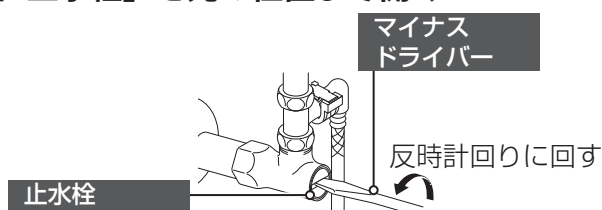
※ 止水栓は調節されているので、元の位置（どのくらい回したか）を覚えておいてください。

2 本体向かって左下の給水ソケットを手で支えながら､中央にある「ストレーナー」を工具で回して外す

※ このとき少量の水がこぼれますので、洗面器などを下に置いてください。

❖ストレーナーを外す際
給水ソケットも回転しますが、これは構造上によるもので、故障ではありません。

[注意]
●ストレーナーを外す際は、給水ホースにキズを付けないように注意してください。

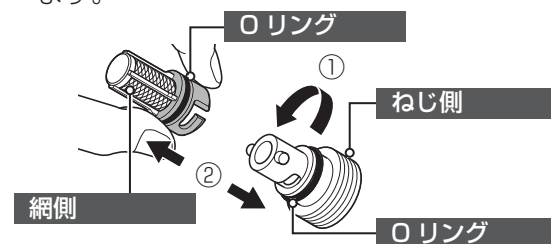
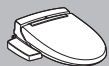
3「ストレーナー」や「O リング」に付いているゴミを水洗いして完全に取り除く

4 給水ソケットを手で支えながら、「ストレーナー」を工具で確実に締め付ける

※ ストレーナーの取付部分に段差がなくなるまで締め付けます。

[取付時の注意]
●ストレーナーを外して水洗いした場合は、しっかりはまっていることを確認してください。

5「止水栓」を元の位置まで開く

6 止水栓部から水漏れしていないか確認する

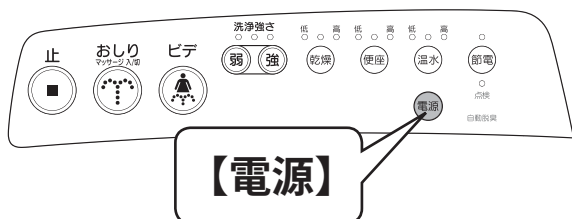
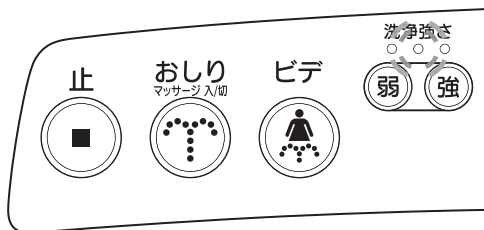
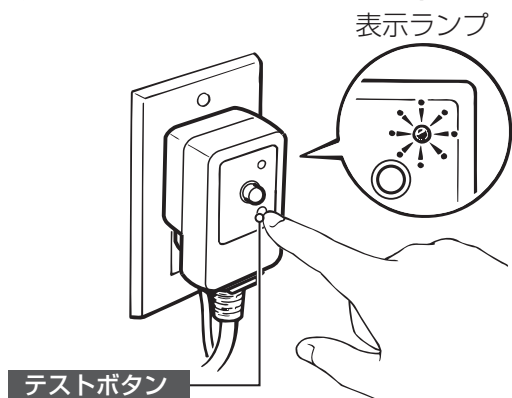
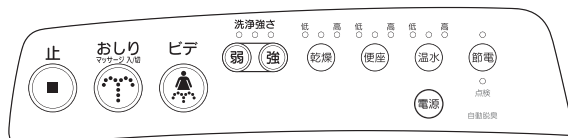
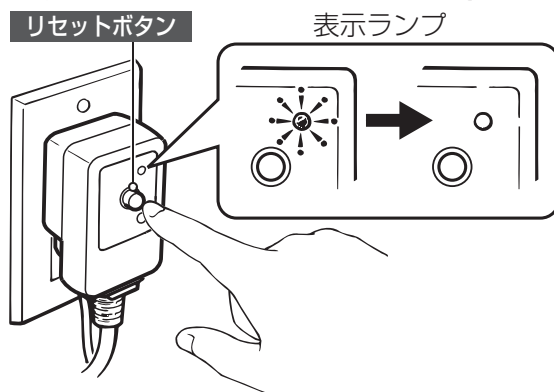
⚠注意

●ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉める。
●ストレーナーを取り付ける際は、段差がないようにしっかり締める。
●ストレーナーを取り付ける際は、ゴミが O リングに付着していないことを確認する。
※ O リングにゴミが付着していると、漏水し室内浸水の原因になります。

■ストレーナーの汚れがひどい場合は
ストレーナーをねじ側と網側に外し、水洗いしてください。
※ O リングにキズを付けないように注意してください。O リングが切れたり、キズが付いたりすると漏水します。
※ 鋭利な物などで、網にキズを付けないよう注意してください。
※ 網が破れるとゴミが侵入し故障の原因となります。

電源プラグ（漏電保護機能付）の点検

この機能のついていない機種があります。
2 ページの「保有機能一覧」にてご確認ください。
電源プラグには漏電保護機能が付いています。電源プラグの故障は、思わぬ事故につながることがあります。必ず点検を行ってください。

点検の目安は月に 1 ～ 2 回程度

1【電源】を押して「入」にする

2【洗浄強さ】の表示ランプが点灯していることを確認する

3 電源プラグの「テストボタン」を押して、「表示ランプ」が点灯することを確認する

4 すべての表示ランプが消灯することを確認する。

5「リセットボタン」を押して、「表示ランプ」が消灯することを確認する

※この点検を行うと、ワンタッチ節電の設定が解除されます。再度セットし直してください。

定期的な点検のお願い

負圧破壊装置（バキュームブレーカー）の点検

● 負圧破壊装置（バキュームブレーカー）の点検の目安は、

取付けの日から 6 年後です。

●負圧破壊装置（バキュームブレーカー）が故障すると水が逆流し、人体に影響を及ぼす原因になりますので点検が必要です。
有料になりますが、定期的に点検を受けていただくことをおすすめします。
負圧破壊装置（バキュームブレーカー）の点検は LIXIL 修理受付センターまでご依頼ください。（下記参照）
LIXIL 修理受付センターにご依頼した場合、点検料金の内訳は、点検料（技術料）＋出張料＋部品代（交換した場合）です。

LIXIL修理受付センター

TEL 0120-179-411
FAX 0120-179-456

受付時間9:00〜20:00（365日受付）
ホームページアドレス　http://www.lixil.co.jp/support/

定期的な部品交換のお願い

摩耗劣化する部品交換のお願い

●部品が摩耗・劣化すると水漏れなどの原因になりますので交換が必要です。
●摩耗劣化する部品の例
例）止水弁、温水タンク、洗浄ノズル、便座、便フタ、スローダウン、電動開閉ユニット、温風ファン、脱臭ファン、部屋暖房ファンなど
●部品の交換については、お求めの取扱店または LIXIL 修理受付センターにご依頼ください。製品状況により、摩耗箇所以外の部品交換も必要な場合があります。

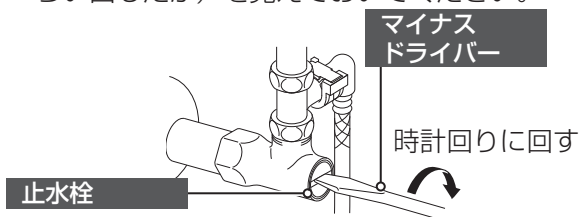
〈定期的な点検・部品交換の目安〉

長期間使用しないときは

以下の場合は下記の手順にしたがって温水タンクの水抜きを必ず行い、電源を抜いてください。
●旅行などで長い間、シャワートイレを使用しないとき。（水が汚れて詰まりの原因になります。）
●別荘などで使用しないとき。（人のいない家では予想以上に温度が下がり、シャワートイレ内の水が凍って破損し、漏水する恐れがあります。）

温水タンクの水抜きのしかた

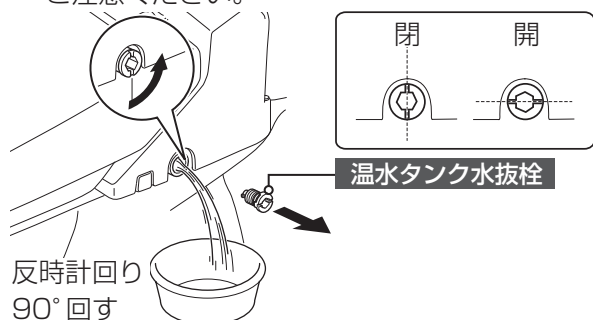
1「止水栓」を閉めて、給水を止める

※止水栓は調節されているので、元の位置（どのくらい回したか）を覚えておいてください。

2 洗浄ハンドルを操作して、タンク内の水を抜く

3 電源プラグをコンセントから抜く

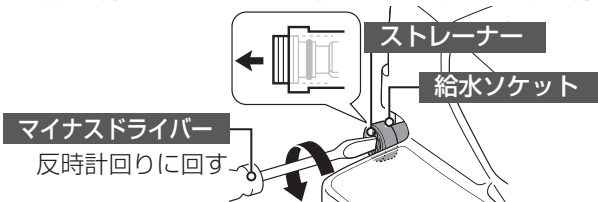
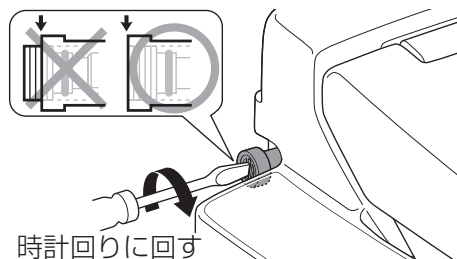
4 温水タンクから水抜栓を外して、温水タンクから水を抜く

あらかじめ水受け（約 1L 以上入るもの）を用意します。マイナスドライバーを使って、水抜栓を反時計回りに 90° 回して外します。

※出し始めは水の勢いが強い場合がありますので、ご注意ください。

5 水抜き完了後、水抜栓を取り付ける

マイナスドライバーを使って、水抜栓を時計回りに 90° 回して確実に取り付けます。

6 本体給水ホースから水を抜く

① ストレーナーの下に洗面器などを置く
② 給水ソケットを手で支えながら、ストレーナーを工具で回して外して、ストレーナー部や O リング部に付いているゴミを水洗いして完全に取り除く

③ シャワートイレ本体を便器から取り外す（☞ 25 ページ）
④ 本体を傾けてストレーナー取付口から、本体給水ホース内の水を抜く
⑤ 水抜き完了後、給水ソケットを手で支えながら、ストレーナーを工具でしっかりと締め付ける

⑥ シャワートイレ本体を便器に組み付ける

7 電源プラグをコンセントに差し込む

8【おしり】を押し、本体バルブ内の水を抜く

※着座センサーを手で覆って【おしり】を押してください。

9 約 5 秒後、【止】を押す

10 電源プラグをコンセントから抜く

■再び使用するとき
必ずご使用前の準備と確認を行ってください。（☞ 9 ページ）

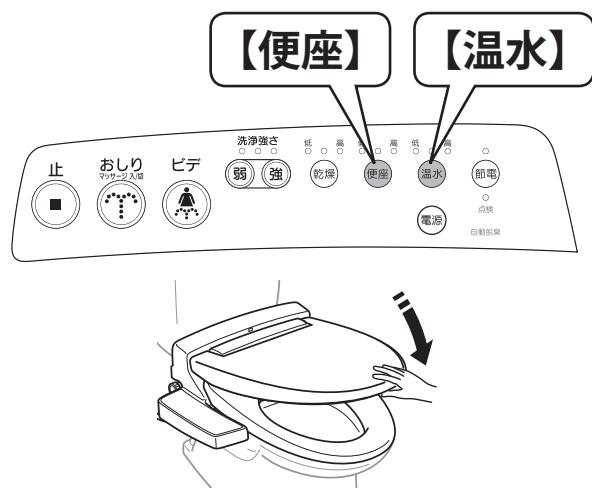
⚠注意

●ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉める。
●ストレーナーを取り付ける際は、すき間がないようにしっかり締める。
●ストレーナーを取り付ける際は、ゴミが O リングに付着していないことを確認する。
※ O リングにゴミが付着していると、漏水し室内浸水の原因になります。

凍結しそうなときは

冬期などの冷え込みが厳しい場合、シャワートイレ内の水が凍って破損することがあります。凍結破損を防止するために以下の作業を行ってください。
（電源プラグはコンセントから抜かず、電源を入れておきます。また、節電機能は解除します。）

一般的な凍結防止方法

1【便座】を「高」、【温水】を「高」にして、便フタを閉じる

2 節電を解除する（☞ 15 ページ）

3 室内を暖房する

※もし室内が暖房できない場合は、33 ページ 1～3、6～9の手順で本体給水ホースから水を抜いてください。

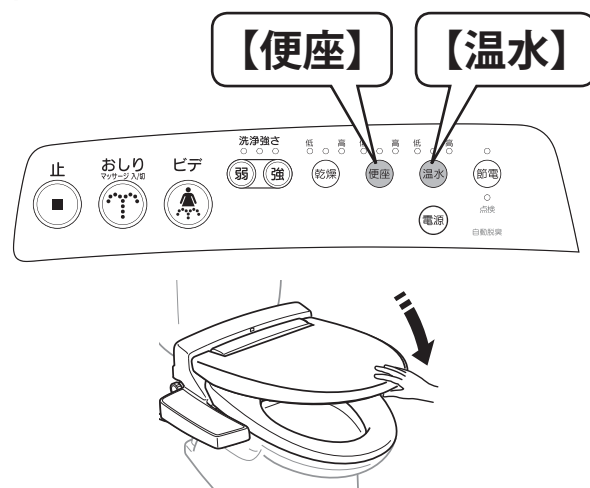
⚠注意

指示実行

凍結の恐れがある場合は、必ず凍結防止操作を行う。

※ 凍結破損により火災・室内浸水の原因になります。

流動式便器の凍結防止方法

1【便座】を「高」、【温水】を「高」にして、便フタを閉じる

2 節電を解除する（☞ 15 ページ）

3 室内を暖房する

※もし室内が暖房できない場合は、33 ページ 1～3、6～9の手順で本体給水ホースから水を抜いてください。

4 便器本体の流動ハンドルを操作する

※ロータンク内の水が絶えず便器内に流れるようにします。
詳しくは、便器の取扱説明書をご覧ください。

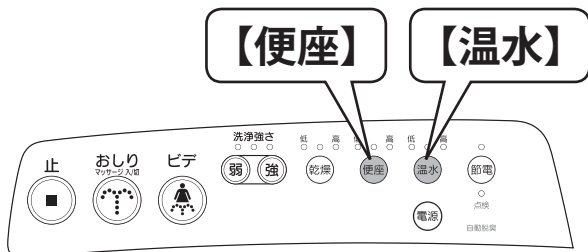
■再び使用するとき
必ずご使用前の準備と確認を行ってください。
（☞ 9 ページ）

■もし凍結してシャワーが出なくなったら
万一、給水ホースや給水接続部が凍結し、シャワーが噴出しない場合は、温かいお湯に浸した布などで、給水ホースや給水接続部を温めてゆっくり解凍するか、または室内を暖めて自然解凍を待ってください。

［注意］
- 給水ホースに熱湯や熱風をかけないでください。
  ※給水ホースが破損する恐れがあります。
- 凍結している部分によっては、解凍中に水が噴出することがあります。解凍中は、こまめに様子をうかがってください。

凍結しそうなときは

水抜栓による凍結防止方法

1【温水】を「高」、【便座】を「高」にして、便フタを閉じる

2 節電を解除する（☞ 15 ページ）

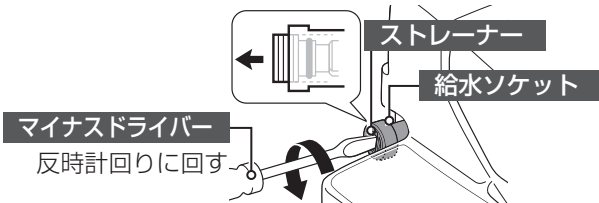
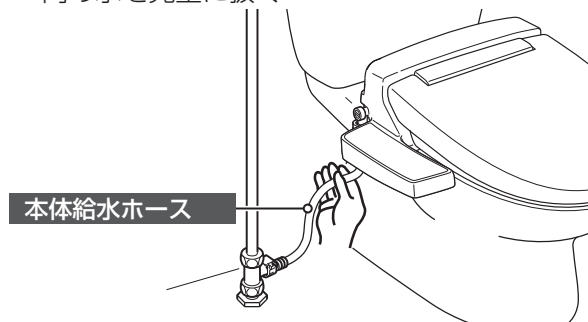
3 室内を暖房する

4 水抜栓を操作して、配管内の水を抜く

5 洗浄ハンドルを操作して、ロータンク内の水を抜く

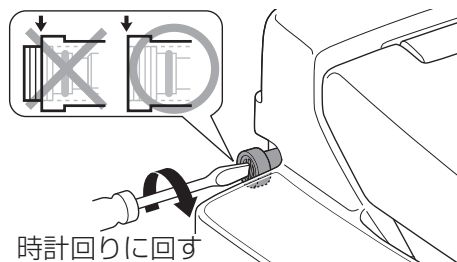
6 本体給水ホースから水を抜く

① ストレーナーの下に洗面器などを置く

② 給水ソケットを手で支えながら、工具で反時計回りに回して、ストレーナーを外し、ストレーナー部や O リング部についているゴミを水洗いして完全に取り除く

③ 本体給水ホースを持ち上げるようにして、ホース内の水を完全に抜く

7【おしり】を押し、本体バルブ内の水を抜く

※ 着座センサーを手で覆って【おしり】を押してください。

8 約 5 秒後、【止】を押す

9 水抜き完了後、給水ソケットを手で支えながら、ストレーナーを工具でしっかりと締め付ける

■再び使用するとき
必ずご使用前の準備と確認を行ってください。
（☞ 9 ページ）

■もし凍結してシャワーが出なくなったら
万一、給水ホースや給水接続部が凍結し、シャワーが噴出しない場合は、温かいお湯に浸した布などで、給水ホースや給水接続部を温めてゆっくり解凍するか、または室内を暖めて自然解凍を待ってください。

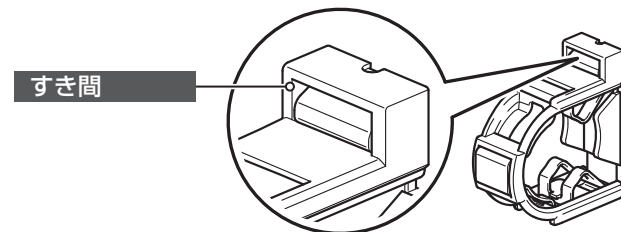
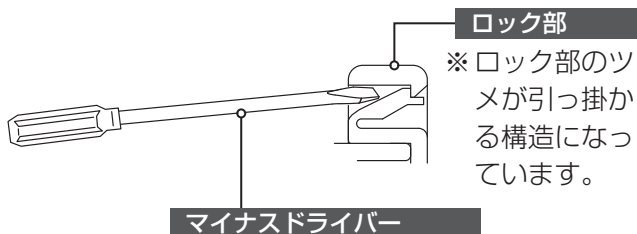
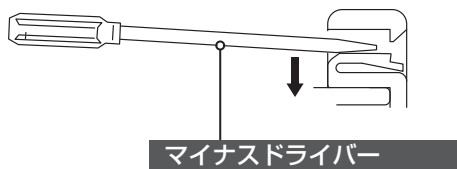
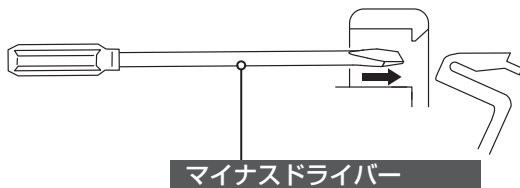
[注意]

●給水ホースに熱湯や熱風をかけないでください。
※ 給水ホースが破損する恐れがあります。

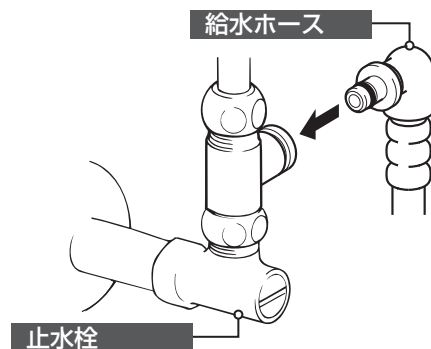
●凍結している部分によっては、解凍中に水が噴出することがあります。解凍中は、こまめに様子をうかがってください。

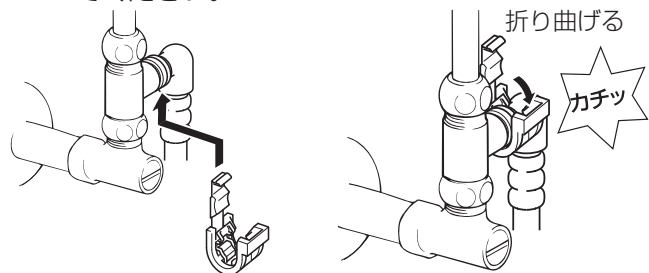
引越しなどで本体を移設するときは

給水ホースの外しかた

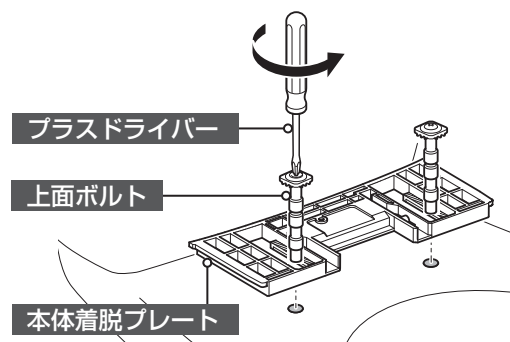
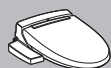
クリップを外してから、給水ホースを外してください。

1 すき間にマイナスドライバーを差し込む

2 すき間に差し込んだマイナスドライバーを、箱状部分のつけ根方向に押す

3「2」の状態から前に押し、ツメを外す

※前に押すとき、ドライバーを少しひねりながら行うと、押しやすくなります。

給水ホースの付けかた

1 止水栓と給水ホースを取り付ける

2 クリップを下図のとおり、“カチッ”と音がするまで取り付ける

※取付後、クリップを回し、確実に取り付けられていることを確認してください。また、給水ホースを軽く引き、確実に接続されていることを確認してください。

■シャワートイレ本体を移設のために取り外す場合は

引越しなどでシャワートイレ本体を移設する場合は、以下の手順で取り外してください。

1.「隠れた部分のお掃除（25 ページ）」の手順にしたがって、シャワートイレ本体を取り外します。
2. 2 本の上面ボルトを緩めて、上面ボルトを取り外します。
3. 本体着脱プレートを取り外します。

修理を依頼する前に

簡単に故障が直る場合がありますので、修理を依頼される前に下記項目を確認ください。
確認しても故障が直らない場合は、お求めの取扱店または LIXIL 修理受付センターにご相談ください。
保証期間内でも有料になることがありますので、下記項目や保証書の記載内容をよくご確認ください。

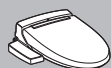
全機能

現　　象	原　　因	処　　置	ページ
すべての機能が動作しない	電源コンセントに電気がきていますか。	停電、ブレーカーなどを確認します。	ー
	電源が「切」になっていませんか。	【電源】を押し、「入」にします。操作部の洗浄強さの表示ランプが点灯していることを確認します。	9
	電源プラグがコンセントに差し込まれていますか。	電源プラグを完全に差し込みます。電源プラグを差し直すときは、10秒程度時間をあけてください。	9
	漏電していませんか。 洗浄強さの表示ランプが消灯していませんか。	電源プラグをコンセントから抜き、しばらくおいてから、再び差し込みます。それでも作動しない場合は、**電源プラグを抜き、修理を依頼してください。**	ー
	〈漏電保護機能付の場合〉 漏電していませんか。 （電源プラグの表示ランプが点灯している。）	電源プラグのリセットボタンを押します。それでもランプが点灯するようであれば漏電していますので、**電源プラグを抜き、修理を依頼してください。**	31
	着座センサー（黒い部分）が汚れていませんか。	着座センサーにゴミや水滴などの汚れが付いていると、着座センサーが検知したままの状態になっている場合があります。センサー部を柔らかくきれいな布でふいて、汚れを取り除いてください。	ー
	着座センサーがはたらいたままの状態になっていませんか。	便座・便フタカバーを浮いた状態で取り付けると、着座センサーが検知したままの状態になっている場合があります。取り外してご確認ください。	ー

おしり洗浄・ビデ洗浄

現　　象	原　　因	処　　置	ページ
シャワーが出ない	止水栓が閉じていませんか。	止水栓を反時計回りに回します。	9
	ストレーナーが目詰まりしていませんか。	ストレーナーの掃除をします。	30
	水道圧が低くないですか。洗浄強さが最弱付近になっていませんか。	洗浄強さの【強】を押します。	13

おしり洗浄・ビデ洗浄（つづき）

現　象	原　因	処　置	ページ
シャワーが出ない	着座センサーが検知していますか。	便座に深く座るなど、座りかたを変えます。	19
	着座センサーが検知しにくい衣服を着ていませんか。	着座センサーに、肌を検知させるようにします。	19
	温水タンクが満水になっていますか。	ご使用前の準備と確認を行います。	9,10
シャワーが温かくない	温水温度が適当な温度に調節されていますか。	【温水】を押し、適当な温度に調節します。	11
	長時間洗浄しましたか。	約 10 分で温かくなります。貯湯式のため、おしり（ビデ）の使用時間に応じてシャワーの温度が低下しますが、異常ではありません。	ー
	節電中ではありませんか。	節電を解除します。	15
シャワーが弱い	洗浄強さが弱になっていませんか。	洗浄強さの【強】を押します。洗浄強さを一番強くしてもまだ弱いと感じる場合、洗浄強さ【強】と【温水】を同じタイミングで 2 秒以上押すと、洗浄強さをさらに 1 段階強くすることができます。ただし、お湯切れが早くなるので注意してください。	17
シャワーがうまくあたらない	他機種からの買い換えの場合、交換前のものと製品の構造が異なるため、交換前のものに比べてシャワーのあたる位置に違いが感じられる場合があります。製品の特性であり、故障ではありません。		ー
シャワーの向きがおかしい	ノズル先端の向きが正しいですか。	ノズル先端を正しい向きに取り付けてください。	28
他の機種と比べ、シャワーが強すぎる／弱すぎる	他機種からの買い換えの場合、交換前のものと製品の構造が異なるため、交換前のものに比べてシャワーの強さに違いが感じられる場合があります。製品の特性であり、故障ではありません。		ー

修理を依頼する前に

暖房便座

現　　象	原　　因	処　　置	ページ
便座が暖かくない	便座温度が適当な温度に調節されていますか。	【便座】を押し、適当な温度に調節します。	11
	節電中ではありませんか。	節電を解除します。	15
長く座っていると便座がぬるくなる	便座ヒーターオート OFF 機能が働いていませんか。	便座ヒーターオート OFF 機能を解除します。	16
	1 時間以上便座に座っていませんか。	1 時間以上座り続けると、暖房便座が自動的に「切」の状態になります。便座から一度立ち上がり、座り直してください。	—
便座の側面が冷たい	便座の暖房機能は、便座上面を暖めることを目的としているため、側面に触ると冷たく感じることがあります。製品の特性であり、故障ではありません。		20

脱臭〈脱臭付の場合〉

現　　象	原　　因	処　　置	ページ
脱臭ファンが回りっぱなしになる	着座センサーが何かで覆われていませんか。	着座センサーを覆っているものを取り除きます。	10
	着座センサーが汚れていませんか。	センサー部をやわらかい布で水ぶきします。	—
	不適切な便フタカバーを使用していませんか。（着座センサーにカバーが掛かっていませんか。）	便フタカバーを外して使用してください。	—
脱臭ファンが回らない	自動脱臭が「切」にセットされていませんか。	自動脱臭を「入」にセットします。	12
	便座に 2 時間以上座っていませんか。	故障ではありません。便座に 2 時間以上座っていると、自動的に着座センサーが「切」になります。	—
脱臭効果が弱くなった（ニオイが気になる）	脱臭カートリッジにホコリなどが付着していませんか。	脱臭カートリッジを掃除します。	29
	脱臭カートリッジが寿命ではありませんか。	脱臭カートリッジを交換してください。	29,48

温風乾燥〈乾燥付の場合〉

現　　象	原　　因	処　　置	ページ
温風が出ない	着座センサーが検知していますか。	便座に深く座るなど、座りかたを変えます。	19
	着座センサーが検知しにくい衣服を着ていませんか。	着座センサーに、肌を検知させるようにします。	19
温風が暖かくない	【乾燥】が適当な温度に調節されていますか。	【乾燥】を押し、適当な温度に調節します。	14
	使用条件により温度の感じ方に差がでる場合があります。温風温度は国際電気標準会議 (IEC) 基準に準拠しています。 (IEC:International Electrotechnical Commission)		−
温風が途中で止まる	4 分以上使っていませんか。	もう一度、【乾燥】を押します。	14

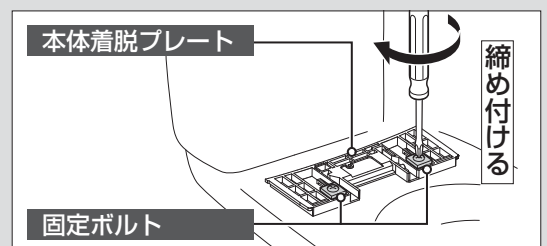
その他

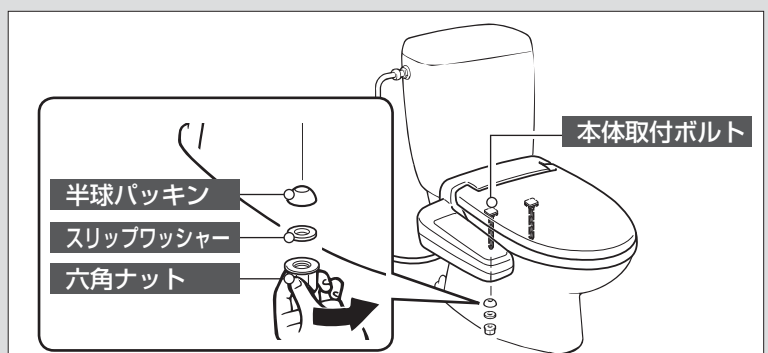
現　　象	原　　因	処　　置	ページ
便座裏に水滴が付着する	シャワーの飛び散りにより便座裏に水滴が付着した。	こまめにふき取ってください。また、深く腰掛けてご使用いただければシャワーの飛び散りが少なくなります。	−
本体がガタつく、ずれる	本体がロックされていますか。	本体をしっかり押し込んでください。	26
	本体着脱プレートが緩んでいませんか。	**〈H シリーズの場合〉** 本体着脱プレートの固定ボルトをプラスドライバーで締め付け直してください。 **〈RL シリーズの場合〉** 取付ナットを締め直してください。	41
本体から" グググッ"と音がする ● 電源プラグをコンセントに差し込んだとき ● おしり洗浄・ビデ洗浄を止めたとき	故障ではありません。 シャワートイレが正常に作動するためにモーターが動いている音です。 洗浄強さの調節や洗浄位置の調節に異常がなければ問題ありません。		−
点検ランプが点灯している	点検時期が来ている。	点検時期ですのでお早めに点検をお受けください。	42
便座裏側にある後ろ足（奥の出っぱり）が便器に着いていない（浮いている）	故障ではありません。 後ろ足（奥側の出っぱり）は浮く設計になっていますので、そのままご使用ください。		−

その他（つづき）

現　象	原　因	処　置	ページ
便座裏側にある前足の片側が便器についていない	故障ではありません。 前足の片側は浮く設計になっていますので、そのままご使用ください。		ー
漏水している	ストレーナーが緩んでいませんか。	ストレーナーを締めます。	30
	ストレーナーにゴミが付着していませんか。	ストレーナーを掃除します。	30
	温水タンク水抜栓が緩んでいませんか。	温水タンク水抜栓を締めます。	33
	湿度が高く結露していませんか。	こまめにふき取ってください。また、換気を十分にしてください。	ー
温水または便座の表示ランプが点滅している	点滅している機能に不具合が生じています。	**故障していますので、コンセントから電源プラグを抜いて、修理を依頼してください。**	ー
お買い上げ時の設定に戻したいとき	《便利な使い方》などで変更した機能を全てお買い上げ時の設定に戻します。	【おしり】と洗浄強さ【強】、【弱】を同じタイミングで 2 秒以上押します。	18

■本体着脱プレート固定方法〈H シリーズの場合〉

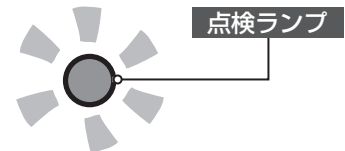
1. 本体をスライド着脱で便器から外します。（☞ 25 ページ）
2. プラスドライバーを使って、本体着脱プレート内にある 2 本の固定ボルトを上から押すようにして締め付けます。
3. 本体を元に戻します。（☞ 26 ページ）

■シャワートイレ本体と便器の固定〈RL シリーズの場合〉

本体がガタつく場合、便器裏側の「六角ナット」、「スリップワッシャー」、「半球パッキン」を締め直してください。
※ナットの締め付けは片利きのないように左右くりかえし、少しずつ行ってください。

安全・安心にお使いいただくために

温水洗浄便座は電気製品のため、長期間ご使用いただくうちに経年劣化により事故に至る恐れがあります。
また、故障したままご使用を続けると製品事故に至る可能性がありますので、故障の場合はすぐにご使用を中止し、販売店、工事店または LIXIL 修理受付センターまでご連絡ください。

1. 点検時期お知らせ表示（タイムスタンプ）について

製品のご使用を開始して約 10 年が経過すると、点検ランプが点灯します。
この表示は、お客さまにご安心してご使用いただくための機能であり、機器の故障ではなく、長年のご使用で製品が安全に使用されているか、また劣化や故障がないかを確認する点検時期がきたことをお知らせするものです。

当社では「おまかせ点検（有料）」をご用意しております。
この機会に、内部的な確認を含んだ点検をおすすめいたします。
※ お客さまの安心・安全を目的とした表示のため、お客さまによる操作ではこの表示を消灯することはできません。LIXIL トータルサービスのサービスマンによる「おまかせ点検（有料）」をお受けいただき、安全を確認した上で消灯いたします。
※ 詳しくは、お客さま相談センターへお問い合わせください。（TEL0120-179-400）

2. セルフチェック項目

シャワートイレの日常的な安全点検は、ご自身でも行うことができます。
下記のチェック項目をもとに、定期的な点検をお願いいたします。
点検をしていただいても故障が直らない場合や調子が悪い場合は、LIXIL 修理受付センターにご相談ください。

温水洗浄便座セルフチェック表

製品を末長くお使いいただくために、下のチェック項目により、定期的な点検をお願いいたします。

セルフチェックを行う前に、シャワーや温風などの各機能が正常に作動するか確認してください。

1つでも該当する場合　次のような症状は、火災や感電、室内浸水の原因になります。
電源プラグを抜き止水栓を閉めて、直ちに販売店か工事店または LIXIL 修理受付センターまでご連絡ください。

	点検目安※	実施日					
便座・便座コード 便座や本体、便座コードに異常がある状態で使用を続けると、火災や感電の原因となります。							
❶ 本体や便座にひびや割れがありませんか? ゴム足は外れていませんか?	年2回以上	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
❷ 便座が異常に熱いときや冷たいときはありませんか?	月1回	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
		/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
❸ 便座の開閉はスムーズですか?便座のガタツキはありませんか?	年2回以上	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
水漏れ 本体や止水栓まわりから水漏れしている状態で使用を続けると、火災や感電、室内浸水の原因となります。							
❹ 水漏れがありませんか? 同時に、ロータンクの中の金具や浮き玉の動き、洗浄ハンドルの戻りなど、不具合がないことを確認してください。	年2回以上	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
電源コード・電源プラグ 温水洗浄便座の電源コードに異常がある状態で使用を続けると、火災や感電の原因となります。							
❺ 電源コードが熱くなっていませんか?傷んだり、挟み込んだりしていませんか。	月1回	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
		/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
❻ シャワートイレ本体・電源プラグ・コードが故障(異臭・異音)していませんか?	月1回	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
		/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
❼ 電源プラグにほこりがたまっていませんか? はい □ → ほこりを取り除いてください。	月1回	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
		/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /

※点検目安は当社お勧めの期間です。

セルフチェックを行う前に、本ページの温水洗浄便座セルフチェック表の部分をコピーしてお使いください。

3. 製品の長期使用に関する本体表示について

(本体への表示内容)

●経年劣化により事故に至る恐れがあることをお知らせするために、本体に以下の内容の表示をしております。

■製造年(本体に西暦4桁で表示してあります。)

警告	**【想定安全使用期間】10 年** 想定安全使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・ケガなどの事故に至る恐れがあります。

(想定安全使用期間とは)

一般家庭用に設置された温水洗浄便座において、標準的な使用条件の下で適正な取扱いで使用し、適正な維持管理が行われた場合に、安全上支障なく使用できる期間として想定されています。

この想定安全使用期間は無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を補償するものではありません。

■標準使用条件

環境条件	**電圧・周波数**	AC100V・50/60Hz	機器の定格電圧・周波数による
	温度	20℃	JIS A4422 による
	給水温度・給水圧	15℃・0.2MPa	JIS A4422 による
負荷条件	**定格負荷**	製品仕様による標準設置状態	JIS A4422 による
想定時間	4 人家族(男性2人、女性2人)において、大便:1回/日·人、小便男性:4回/日·人、小便女性:4回/日·人の使用回数で、一回ごとの洗浄便座機能の使用時間をそれぞれ 15 秒間とする。		JIS A4422 による
取扱維持管理	取扱説明書に記載された通常の使用方法、お手入れ、点検・修理が行われている。		

❖経年劣化について

「経年劣化」とは長期間にわたる使用や放置に伴い生じる劣化をいいます。

アフターサービス

1. 修理を依頼される前に

商品が故障したら「故障かな？と思ったら」（☞ 37 ページ以降）を参照してください。
それでも故障が直らない場合は、お求めの取扱店または LIXIL 修理受付センターにご相談ください。
なお、不具合でなくても下記の場合はご相談ください。

●取扱説明書どおりに使用されても、まだ不明な点がある場合
●コードの傷みやコンセントのガタつき
●コンセントや電源プラグ、コードの過熱

上記の場合は、そのままにしておくと思わぬ事故につながる恐れがあります。必ずご相談ください。

他社製ロータンクにフルオート便器洗浄ユニットを取り付けている場合

ロータンク内の部品による不具合･故障において､フルオート便器洗浄ユニット以外の部品が原因の場合､保証の対象外となります。
※ フルオート便器洗浄ユニットとは、自動便器洗浄するためのユニットであり、洗浄ハンドルからモーター部、ハンドルレバーまでを示します。それ以外の部品（鎖・フロートゴムなど）は、保証の対象外となります。

分解禁止

分解や改造は絶対に行わない。
※ 感電・火災・ケガの原因になります。

指示実行

シャワートイレ本体や給水部から漏水した場合、コンセントから電源プラグを抜き、止水栓を閉める。
※ 感電・火災・室内浸水の恐れがあります。

指示実行

シャワートイレ本体、電源プラグやコードが故障（異音・異臭・発煙・高温・割れ・漏水）した場合、ただちにコンセントから電源プラグを抜き、止水栓を閉め、修理を依頼し、故障したまま使用しない。
※ 感電･火災･漏水の恐れがあります。

2. 保証書をご覧ください

この商品は保証書がついています。保証書は、取扱店で所定事項を記入してからお渡しいたします。
記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

保証期間は取付けの日から 2 年間です。

保証期間内でも有料になることがありますので、保証書の記載内容をよくご確認ください。

3. 修理を依頼されるとき

■ 保証期間中の修理

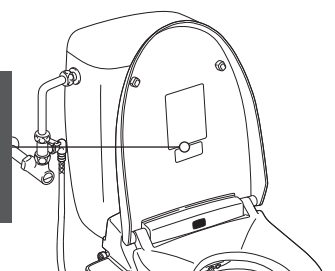
修理に際しては、必ず保証書をご提示ください。
保証書の規定にしたがって修理させていただきます。

■ 保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、
お客さまのご要望により有料修理いたします。
料金の内訳は、技術料＋出張料＋部品代です。

■ 連絡していただきたい内容

1. ご住所・ご氏名・電話番号
2. 品名・品番・色番・製造番号
（便フタ裏または製品本体の表示をご覧ください。）
3. お取付日（保証書をご覧ください。）
4. 故障内容・異常の状況（できるだけ詳しく）
5. 訪問ご希望日

※ ご登録などをされるときには、便フタ裏または製品本体の表示が必要となります。決してはがさないようにしてください。

4. 補修用性能部品の最低保有期間

シャワートイレの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後 6 年です。
点検・修理の申し込みの際にお問い合わせください。
保有期間経過後の修理では、部品がない場合がありますのでご了承願います。
※ 補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

5. 定期点検のおすすめ

有料となりますが、次のような場合は定期的に点検を受けていただくことをおすすめします。

- ●負圧破壊装置（バキュームブレーカー）･･･ 6 年ごとに点検（☞ 32 ページ）
- ●ご使用上支障がなくても長くお使いいただくため、お買い上げより 3 年たったもの
- ●温泉地域および海岸付近など、特に腐食をおこしやすいところで使用されるもの
- ●長期間のご使用により点検ランプが点灯したら（☞ 42 ページ）

定期点検については、LIXIL 修理受付センターまでご相談ください。
点検料金の内訳は、点検料（技術料）＋出張料＋部品代（交換した場合）です。

6. 商品についての使い方・お手入れ方法などのお問い合わせは

お客さま相談センター

TEL 0120-179-400
FAX 0120-179-430

受付時間　平日　9:00～18:00
　　　　　土・日・祝日　9:00～17:00
(ゴールデンウィーク、夏期、年末年始の休みは除く)

※ フリーダイヤルは、携帯電話･PHS･IP電話などではご利用になれない場合がございます。
下記番号をご利用ください。
TEL：0562-40-4050
FAX：0562-40-4053

7. 商品についての修理・定期点検のご依頼は

LIXIL修理受付センター

TEL 0120-179-411
FAX 0120-179-456

受付時間9:00～20:00（365日受付）
ホームページアドレス　http://www.lixil.co.jp/support/

仕様

<table>
<tr><td colspan="3">シリーズ名</td><td colspan="3">Hシリーズ
RLシリーズ</td></tr>
<tr><td colspan="3" rowspan="2">グレード</td><td>CW-H43型
CW-RL3型</td><td>CW-H42型
CW-RL2型</td><td>CW-H41型
CW-RL1型</td></tr>
<tr><td>温風乾燥・脱臭</td><td>脱臭</td><td>–</td></tr>
<tr><td colspan="3">定格電源</td><td colspan="3">AC100V 50/60Hz</td></tr>
<tr><td colspan="3">定格消費電力</td><td>390W</td><td colspan="2">350W</td></tr>
<tr><td colspan="3">省エネ区分</td><td colspan="3">貯湯式</td></tr>
<tr><td colspan="3">年間消費電力量 ※1</td><td colspan="3">Hシリーズ　：164kWh/年（節電機能切時：230kWh/年）
RLシリーズ：164kWh/年（節電機能切時：229kWh/年）</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">使用水道圧範囲</td><td>最低必要圧力</td><td colspan="3">0.06MPa（流動時）</td></tr>
<tr><td>最高水圧</td><td colspan="3">0.75MPa（静水圧）</td></tr>
<tr><td colspan="3">使用温度範囲</td><td colspan="3">0℃～40℃</td></tr>
<tr><td colspan="3">商品寸法</td><td colspan="3">幅474mm ×奥行554mm ×高さ149mm</td></tr>
<tr><td colspan="3">商品質量</td><td>H43型：約3.9Kg
RL3型：約4.0Kg</td><td>H42型：約3.6Kg
RL2型：約3.7Kg</td><td>H41型：約3.5Kg
RL1型：約3.6Kg</td></tr>
<tr><td colspan="3">電源コード</td><td colspan="3">Hシリーズ　：有効長さ:1.0m（アースコード付）
RLシリーズ：有効長さ:1.2m（漏電保護機能、アースコード付）</td></tr>
<tr><td rowspan="16">機能部</td><td rowspan="7">洗浄</td><td>給水方式</td><td colspan="3">水道直結式</td></tr>
<tr><td>給湯方式（タンク容量）</td><td colspan="3">貯湯式 (0.67L)</td></tr>
<tr><td>おしり吐水量</td><td colspan="3">0.27～0.57L/分（3段階調節）供給水圧0.2MPaのとき</td></tr>
<tr><td>ビデ吐水量</td><td colspan="3">0.45～0.65L/分（3段階調節）供給水圧0.2MPaのとき</td></tr>
<tr><td>温水温度</td><td colspan="3">水温・約32℃～40℃（計6段階切替）
ワンタッチ節電 (8h) 設定時：水温</td></tr>
<tr><td>ヒーター容量</td><td colspan="3">300W</td></tr>
<tr><td>安全装置</td><td colspan="3">温度ヒューズ・空焚き検知回路・高温感知スイッチ</td></tr>
<tr><td rowspan="4">温風乾燥</td><td>風量</td><td>0.3m^3/分</td><td colspan="2">–</td></tr>
<tr><td>温風温度</td><td>室温・
約40℃～55℃
（計3段階切替）</td><td colspan="2">–</td></tr>
<tr><td>ヒーター容量</td><td>340W</td><td colspan="2">–</td></tr>
<tr><td>安全装置</td><td>温度ヒューズ</td><td colspan="2">–</td></tr>
<tr><td rowspan="3">暖房便座</td><td>表面温度</td><td colspan="3">使用時：室温・約28℃～36℃※2(計6段階切替)
ワンタッチ節電 (8h) 設定時：室温</td></tr>
<tr><td>ヒーター容量</td><td colspan="3">45W</td></tr>
<tr><td>安全装置</td><td colspan="3">温度ヒューズ</td></tr>
<tr><td rowspan="2">脱臭</td><td>脱臭方式</td><td colspan="2">脱臭カートリッジによる
化学吸着方式</td><td>–</td></tr>
<tr><td>脱臭能力</td><td colspan="2">パワー脱臭時：0.11m^3/分
フルパワー脱臭時：0.14m^3/分</td><td>–</td></tr>
</table>

※1：省エネ法 (2012年度基準) に基づいた測定値。
※2：省エネに配慮して、便座温度は最高36℃としております。使用環境によっては便座が冷たいと感じる場合があります。
トイレを使用しないときは便フタを閉じておくと便座の保温性が向上し、省エネ効果があります。

［注意］●この商品は、日本国内向け仕様です。海外での使用は、おやめください。

別売品のご案内

当社では、快適なトイレ空間造りのお手伝いとして、シャワートイレのメンテナンス用品をはじめとする、数々の別売品を用意しております。

別売品について

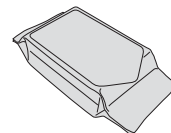
■ 取替え用脱臭カートリッジ（品番：CWA-29）

脱臭カートリッジの寿命は、約 7 年です。
ニオイが気になりだしたら交換してください。
（☞ 29 ページ）

■ トイレ用おそうじティッシュ（品番：CWA-36-4SET）

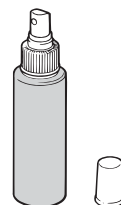
プラスチックを傷めず、除菌効果に優れたトイレ専用ウェットティッシュです。
使用後、便器にそのまま流せます。
（☞ 23,26 ページ）

■ おしりノズル先端（品番：CWA-244）
■ ビデノズル先端（品番：CWA-245）

汚れが気になるときに交換できます。ノズル先端をいつも清潔に保てます。（☞ 28 ページ）

■ シャワートイレお掃除クリーナー（品番：CWA-20）

プラスチックを傷めないスプレー式シャワートイレ専用洗剤です。シュッと吹きかけて、ただふき取るだけ。
脱臭剤配合で便器にもご使用になれます。
（☞ 23,26 ページ）

■ 便座ストッパー（品番：CWA-41A）

便フタを外してご使用する場合にご購入ください。

別売品のご案内

別売品の購入方法

■ 直接、購入される場合

当社商品の販売店でお求めください。

■ 宅配サービスをご利用される場合

宅配サービスでは送料が別途必要となります。

・お電話にてご注文いただく場合

LIXIL パーツショップ水廻り部品販売窓口へご連絡ください。

[ご注文フリーダイヤル]

電話番号　0120-126-015

受付時間　9：00 ～ 17：00（土・日・祝日・夏期・年末年始の休みは除く）

・インターネットにてご注文いただく場合

[ホームページアドレス]

http://inax.lixil.co.jp/aftersupport/sales/index.html

（インターネットではお取扱いしていない商品もございます。あらかじめご了承ください。）

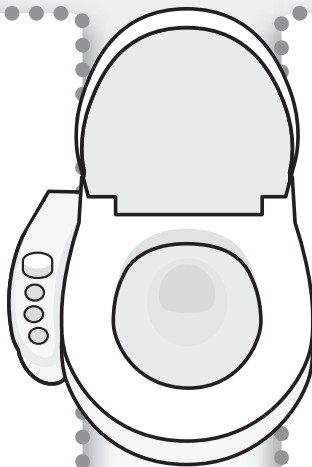
重大事故防止のためのお願い

温水洗浄便座は電気製品です

～多くのお客さまが電気製品としての取り扱い、寿命を意識されていません～

故障したままのご使用や長年のご使用は、電気部品が劣化し発煙発火の恐れがあります

故障したままで使わないでください。

火災や感電、室内浸水の原因になります。
異常に気づいたら、**すぐに電源プラグを抜き、止水栓を閉めてご使用を中止**し、販売店またはメーカーへご連絡ください。

定期的な点検をおすすめします。

安心してご使用いただくため、**定期的な点検**をおすすめします。
また、**長期間（10年以上）ご使用の温水洗浄便座は買い替え**をご検討ください。使い勝手、機能性、省エネ性能も向上しています。販売店またはメーカーにご連絡ください。

安全にご使用いただくために

日ごろのご使用にあたり、取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

便座や本体に小水や洗剤をかけないでください。故障や火災の原因になります。

酸性やアルカリ性の洗剤を使わないでください。内部の電気部品や金属を腐食させます。

電源プラグのほこりは取り除いてください。トラッキング※現象で火災の原因になります。

※トラッキングとは･･･電源プラグにたまったほこりと湿気により微小電流が流れ、火花が発生する。火花によりほこりが燃えて炭化するとトラック（電気の道）ができる。トラックのできた電源プラグを使用し続けると、やがて大量の電流が流れるようになりショートし、発火する。

温水洗浄便座 セルフ安全チェックリスト

症状がひとつでも該当する場合は、電源プラグを抜き、止水栓を閉めて、直ちにご連絡ください。

便座・便座コード　便座や本体、便座コードに異常がある状態で、使用を続けると、火災や感電の原因となります。

- □ 本体や便座にひびや割れがありませんか？ ゴム足は外れていませんか？
- □ 便座が異常に熱いときや冷たいときはありませんか？
- □ 便座の開閉はスムーズですか？ ガタツキはありませんか？
- □ 便座コードが熱くなっていませんか？ 傷んだり、挟みこんだりしていませんか？ 焦げ臭いにおいがしませんか？

電源コード・電源プラグ　電源コードに異常がある状態で、使用を続けると、火災や感電の原因となります。

- □ 電源コードが熱くなっていませんか？ 傷んだり、挟みこんだりしていませんか？
- □ 電源プラグの差込部が発熱・変色していませんか？

水漏れ　水漏れしている状態で、使用を続けると、火災や感電、室内浸水の原因となります。

- □ 本体や止水栓まわりから水漏れはありませんか？

一般社団法人 **温水洗浄便座工業会**　後援 **経済産業省**
〒461-0002 名古屋市東区代官町39-18　http://www.sanitary-net.com

商品のお問い合わせは
お客さま相談センターへ

TEL 0120-179-400
FAX 0120-179-430

受付時間　平日　　　　　9:00～18:00
　　　　　土・日・祝日　9:00～17:00
(ゴールデンウィーク、夏期、年末年始の休みは除く)

※フリーダイヤルは、携帯電話・PHS・IP電話などではご利用になれない場合がございます。
下記番号をご利用ください。
TEL：0562-40-4050
FAX：0562-40-4053

修理のご依頼は
LIXIL修理受付センターへ

TEL 0120-179-411
FAX 0120-179-456

受付時間　9:00～20:00（365日受付）

当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。
個人情報の取り扱いについての詳細は、当社ホームページの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

年	月	日	損傷と処置	サービス担当者

GCW-1307A(14073)

株式会社 LIXIL

ホームページアドレス　http://www.lixil.co.jp/